

新ごみ処理施設 2巡目集落説明会の概要 (質疑応答のまとめ)

令和元年5月 新ごみ処理施設整備室調整

目次

1	施設の安全性について	1
2	次期施設の建設について	2
3	周辺集落の範囲について	2
4	集落間等の調整について	3
5	交通量の増加、道路整備等について	3
6	最終判断について	10
7	合意がなければ建設しないことについて	13
8	農作物等への風評被害について	14
9	エネルギー利用について	16
10	先進施設等の視察について	18
11	国際大学との関係について	20
12	議員・議会に対して	23
13	ごみ処理の広域化について	24
14	新施設への期待	25
15	最終処分場について	25
16	建設用地の買収等について	26
17	新施設建設費用の負担について	27
18	建設予定地の選定理由について	28
19	他の候補地について	30
20	新施設の運営方法について	32
21	雇用の増加等について	33
22	環境整備補助金等について	33
23	周辺土地の地価等への影響について	34
24	地下水への影響について	35
25	付帯施設について	35
26	ごみの減量化について	37
27	不法投棄について	37
28	その他	37

※ 資料の回答の中で、(新)と表記されているものは、説明会場では即答できなかった回答で、この資料を作成する際に追加したものです。

新ごみ処理施設 2巡目集落説明会の概要（質疑応答のまとめ）

No.	1. 施設の安全性について	
1	Q	40、50年前の鉄骨の建物は、全部アスベストを吹き付けていた。その時は、国がこれをやらなかったら許可しないと言っていたのが、40、50年後には有害になった。同様にこれから先、煙突からダイオキシン以外の有害物質が出る可能性が十分ある。ただ、今の法律に入っていないだけの話である。これから30年後にアスベストやホルムアルデヒドのようなことが絶対にないということは言えないと思う。(穴新)
	A	絶対的な安全性という問題になると確答は難しくなる。しかし、全国各地に処理施設が存在し、安全性については確立した技術をもって現に運営されており、新たな問題も近年発生していない。排ガス中の有害物質の分析も継続して行われており、新たな有害物質に関する知見が出てくることは考えにくい。(新)
2	Q	不燃ごみの汚水や臭いなどは全く考えられないか。エコプラント魚沼では不燃ごみや空き缶などの臭いがする。汚水も出るかと思う。そういうことは全く考えられていないか。不燃ごみ処理施設から有害物質が含んだ水が出るようなことは一切ないのか。建物は別にするというのか。(柳古)
	A	エコプラント魚沼は、可燃ごみと不燃ごみを混合で処理をしているので生ごみの臭いがする。島新田の施設は、建物が少し離れているので不燃の方ではほとんど臭いはしない。缶に付着した残渣による臭気が若干あるが、地元から臭いの問題は出ていない。 不燃ごみ処理施設では、洗浄水が排水されるが、排水処理施設できちんと処理をして下水道に流す計画。現在もそうしている。 可燃ごみと不燃ごみの処理施設は同一敷地内に建てる計画だが、同一建物内にするのか、少し離れた所に建てるかは未定。
3	Q	植物というのはその植物によって性質が異なっているので、さくらんぼが大丈夫だから他の植物もイコールではないと思う。椎茸やこしあぶらは放射性物質を吸収しやすいということもある。土壌に対してどうなのか、スイカはどの程度吸収するのか、それとも全く関係ないのかというのを専門家に聞いてみる必要があるのではないかと。(原・横)
	A	インターネットで調べてみると、ダイオキシンは水に溶けない性質なので土壌に蓄積はされるが、植物の根から吸収されることはなく、植物自体に蓄積されることはない。しかし、作物の表面に付着するということが考えられる。食物連鎖の中で段々とダイオキシンが蓄積されていき、人間の口に入る時に一番多いのが肉と乳製品、魚である。したがって植物によって取り込まれる量が違うということはない。表面に付着した場合は洗浄するしかないとのこと。もしそれを食べて摂取したとしても環境基準を超える値ではない。
4	Q	サクランボやお茶について風評被害はないというが、なんにでも「想定外」という事態が発生している。南魚沼の特産物がたくさんあるこの地に、風評被害が発生したら想定外という言葉では済まされない。(原・横)
	A	何か異常があった場合は停めるというシステムになっている。暴走させずにきちんと停めるという技術が、一番信頼ができる。都会で一度そういう事故を起こしてしまえば、日本全国どこでも新しい施設ができなくなってしまう。そういう点は、技術者が一番気を使っている点である。
5	Q	(ごみ処理施設は)膨大な量の化学物質を燃やして、少なくとも綺麗な空気を出すのではなく汚れた空気を排出する、想像できないようなごみを燃やす施設なのである。言い換えると汚れた施設なのにカモフラージュして(安全な施設だと)説明しているように聞こえる。 浦佐駅から眺める八海山、駒ヶ岳は別格の景色だということに、そこへ汚れた施設ができるということは、私としてはマイナス要素、八色原の価値を下げる。 施設ができると自分の住む環境の価値がものすごく悪くなる。(東)
	A	景観を損ねるといふ点は否めない。様々な景観対策を研究して可能な限り生活環境に影響を与えないよう、工夫する必要があると考えている。 確かに排ガスはきれいな空気ではないが、汚れた施設というイメージを払しょくできるほど、浄化技術は進んでいる。(新)

No.	2. 次期施設の建設について	
6	Q	<p>次期施設の建て替えについて説明していただいたが、これは一度建てたら次も建てるということだと思う。その時の判断とは言っているが、建てたら次もあるということだと思う。次も絶対にあると思うがどうか。今の段階では一つ目を建ててしまえば次もあるとこちらは考えて良いか。一つできてしまえば次も次もとなってしまうので不安だけである。(八色原)</p> <p>前回の説明会で市長は、2代目、3代目と施設をつくらと言っていたと記憶しているが、そういうことで良いか。(国際大)</p>
	A	<p>9haという広い土地を買うということは、最初の施設だけでなく2代目、3代目の施設もこの地につくることが決定しているのではないかと、全てこの地にごみ処理の問題を賭かせようとしているのではないかと心配の声が多く聞かれる。同じ場所で建て替えができればありがたいことであると考えている。そのための用地を確保するのは今生きているの我々の使命であると思う。しかし、次の施設は、その時の住民の方々の同意を得て初めて建て替えが可能となるものであり、今この時点で次期施設の建設地をここに決定しているわけではない。改めてその時の住民の方々に意見を問うたときに、約束していた安全性や周辺地域への貢献が実現されていなければ、受入れてもらえない。用地を確保したとしてもそれだけで次期施設の建設はできない。</p>
No.	3. 周辺集落の範囲について	
7	Q	<p>2巡目資料のQ46の回答について、この記載の仕方だと八色原、浦佐八色、鰐島は周辺集落の範囲から除外されているような解釈ができる。あるいは2番手というような印象を受ける。これはどういうことか。(八色原)(穴新)</p>
	A	<p>A46ではあくまでも周辺集落の根拠を記載した。行を分けて記載したので分断された印象を受けたかと思うが、1行目も2行目も同じ周辺集落として位置付けている。</p> <p>1行目は、国際大学の用地に地番が接している集落、2行目は、それだけではなく、その場所で耕地を所有して耕作を行なっている集落。その両方が周辺集落であり、同意をいただく必要があることを記載している。</p>
8	Q	<p>水尾、今町新田、東地区は周辺集落に入るのか。東地区全域を周辺集落とすると同意を要する分母が非常に多くなるのではないかと。(八色原)</p>
	A	<p>水尾、今町新田、東地区は同意を要する周辺集落ではなく、「関係集落」として位置づけている。当初、1巡目で説明会を行う計画はなかったが、申し出により水尾と今町新田でも行った。東地区も黒土新田辺りから声があり、各集落ではなく東地区全域で開催することとなった。ここには2巡目も説明会を行なうが、同意をとる場合の分母には入らないという認識である。</p>
9	Q	<p>国道291号の交通量が増加することで、水尾は相当の影響を受ける。大学周辺に土地を有している人もいる。同じ大崎地区でもあり、水尾も同意が必要な周辺集落に入れてほしい。(水尾)</p>
	A	<p>同意が必要な範囲には決まりがない。半径1kmや600mという距離的な範囲で決めることができない。水尾、今町新田、東地区は関係集落という位置づけ。交通量の問題だけをいうと東地区も同じであり、どこまでも対象範囲が広がってしまうおそれがある。</p> <p>何らかの基準に基づいて同意を要する集落の範囲を線引きしなければならない。</p>
10	Q	<p>最終的な周辺集落の合意の判断に関して、国際大学の学生達は決定権を担うことができるか。(国際大)</p> <p>2巡目資料のQ46の回答において、基本的には国際町に接している集落である大崎、柳古新田、海士ヶ島新田、穴地、穴地新田とある。国際町が含まれていないのはなぜか。(国際大)</p>
	A	<p>最終結論の出し方については明確に決まっていない。国際大学の学生の意見、気持ちは重要であると受け止めており、決定権があるかどうかという問題よりは意見を沢山聞かせていただきたいと考えている。決して、関係ないとは思ってはいない。</p> <p>国際大学の榎田理事長から周辺集落の同意形成が用地提供の条件であると言われており、それを前提として説明会を行っている。改めて国際大学(国際町)の同意を得ることは考えていない。</p>

No.	4. 集落間等の調整について	
11	Q	<p>11月8日に大崎地区、浦佐八色、鰹島、黒土新田の区長もしくは代理の方に集まっていたが、署名を提出した八色原、穴地新田、柳古新田、海士ケ島新田集落の他に穴地集落の計5集落から、ぜひ大崎全域で考えていただきたい問題であると話をさせていただいた。一般公募の際に起きたように集落間同士のいざこざがあつては困るし、区長一人の見解というわけにはいかないで持ち帰っていただき審議していただくような形になった。(区長会)</p> <p>この集落は他所から人が集まってできた村なので、大きなまきや親戚というのがない。とても仲の良い村であるが今回の計画で村が揉めるのは非常に残念である。一般公募の際、集落間で揉めたという話があつたが村内でそういうことが起きてはまずい。穴地が評議委員会を開き、全会一致で反対するという決議出したという。そうすると、坊谷山の北側の集落は全部反対しているのに、なぜ南側の大崎地区は賛成しているのかという話になってしまい、面倒な話になってくる。この地区は特殊で学区は赤石で行政区は大崎である。その行政区で割れるとどうなるかという話にもなるので、その辺も踏まえながら考えてほしい。(八色原)</p>
	A	<p>周辺集落の同意の取り方について、市ではかなり慎重に対応してもらいたい。下手をすると集落内で割れるようなことや坊谷山の北側と西側で大崎地区が大きく分断して対立するようなことになるのではないかと。それだけは無いように十分に対応を検討してほしい。(同意・不同意の結果はどうか、大崎地区が二分する可能性も考えられなくはない。坊谷山の南側と北側の温度差をどのように調整するかを執行部に一番考えてもらいたい。(柳古)</p> <p>賛否の判断については、集落の中だけでなく周辺の集落に入れてもらって意見させてもらいたい。近隣の4集落が反対しているのに当集落が賛成とは言えない。集落間で対立するようなことがあってはいけないからである。近隣集落の同意を得ることを優先して、周辺の集落はその次になるのではないかと。(鰹島)</p>
12	Q	<p>公募のときのような集落間の対立が生じてはならない。周辺集落の中で温度差がかなりあることは理解している。その点は十分考えながらやらせていただく。物事を決めるのは非常に難しい。単に投票や手挙げで決めていいのか。しかし、ごみ処理場は、どこかにつくらなければいけない。もしもこの場所が皆さんから絶対駄目だという結論になり、別の場所に話を移すことになった場合、ここでのやり方、姿勢が行政の信頼を損なうような形であつては、どの場所でも拒否されると考える。本当に慎重に取り組もうと思つているが、今ここでこういうやり方でと明言できない。</p>
	A	<p>最終判断をどうするかといった時、協議会をつくったらどうか。どこにつくるにしても協議会は必要だと思う。市主導ではなく、地元から地元住民の意見を取り上げる組織をつくることを要望する。(東)</p> <p>他の自治体でも協議会形式で議論をしている。杉並区では、最初の施設建設時に協議会を立ち上げた時、自然や環境にとっても敏感な方が心配の声や反対の声をあげていたという。その方々は、今では運営委員会として施設の運営管理について監視をしながら、行政と住民の間に入り話し合いをする受け皿になっている。</p>
No.	5. 交通量の増加、道路整備等について	
13	Q	<p>道路整備に要する工事費はどれくらいか。(穴新)(鰹島)</p>
	A	<p>久曲川に2ヶ所の橋梁架け替えを行う費用を含めて、約12、3億円ほどと考えている。</p>
14	Q	<p>これから交通量が増えることを国が見越して国道17号バイパスをつくっているのになぜ、それを利用できる所につくらないのか。わざわざ狭い所、危ない所を通らなくても国道17号があるのだから、その沿線上で少しズレた所であれば少し道路を直すだけで取り付けが可能である。(穴新)</p>
	A	<p>(No121の回答と重複)</p>
15	Q	<p>農道を搬入経路に使用することは困難で危険である。春の田植えの時期は、苗等を運ぶ車が停まっていたり苗箱が置かれていたりする。泥が落ちていたりして一般車が滑ったりすることもあると思う。秋の収穫時も、コンテナを積んだトラックが何台も停まっていたりして、そこをジグザグに走っていかなければいけなくなる。冬になると除雪しなければならぬ。(穴新)</p> <p>県道一村尾大崎線から海士ケ島新田に左折する農道は、農繁期になると軽トラックなどがかなり停まっている。今のままだと思わぬ渋滞が起きるのではないかと気がする。(フォロー)</p>
	A	<p>農繁期には農道の通行を制限するような立て看板等による周知を行う。</p>

16	Q	ごみ処理施設の本体工事を行う前に道路改修を行ってほしい。施設をつくったが、地権者が用地を売ってくれないので道路改修はできないということだと話にならない。 先に道路改良から始めるという確約をしてもらわなければならない。(穴新)
	A	施設の建設も、道路の拡幅も皆さんから同意をいただかない限り前に進めない。
17	Q	通行想定図の迂回道路を多額に費用をかけて整備することは、ごみ収集車が通るだけでは勿体ないので、この沿線上に企業が入ることで益々交通量が増えるということも考えられる。工場ができれば、それを地域発展だと言う人もいるかもしれないが、交通量が増えればこの地域一帯は家からで出られなくなるようなことにならないか。(穴新)
	A	企業立地までは考えていない。ただ、国際大学の土地で使っていない土地があるが、それが行政とのタイアップで色々な活用方法は生まれてくる可能性はあるかと思う。開発や発展をどう考えるかという問題だが、何もしないことが一番良いことだという考えも当然あると思うが、せっかくある土地が使えるのであれば何かに使うという考えもある。何かをつくれればそこに人が来てもらわなくてはいけない、人が動かなければいけない。人が動くことが発展であるという考え方もある。どちらを取るかという選択になるが、我々は、どういう発展をするにせよ、どんなものをつくるにせよ、これだけの土地が手に入って環境整備が可能である場所は他にはあまりないだろうと思ってこの場所を選定したわけである。色々なフロンティアとしての可能性を秘めた場所がここであるということが、この場所を最終的に選考した理由である。
18	Q	生コン工場の横を通る道路は、勾配がきつく狭い所であるが冬も通すつもりで計画したのか。あの急勾配の所を冬にパッカー車が上れると思うか。冬は無理となると、県道を通って大崎の方に出て行くことになる。一番危ない冬に小学校のある道路の交通量が増えることになる。(穴地新田)
	A	勾配がきついので工法を考えなければいけない。確かに冬通るには怖い所である。冬は、全部はこちらの道路を通れないと思う。県道の方が多くなるかもしれない。夏場だけでもその道路が使えるのであれば価値があると思う。
19	Q	市道1km当たりの除雪費はいくらくらいか。通行想定図を見ると大体10kmほど回路が増えるので除雪費も増える。除雪費が足らなくなって、他の市道除雪の回数を減らすようなことにはならないか。除雪費が上昇することで市税が上がったりしないか。道路を作ってもランニングコストが大きくかかるようでは困る。(海士ヶ島新田)
	A	1kmだと3,000万円、10kmで約3億円である。現在、除雪していない道路を除雪することは除雪費が上昇することになるが、だからと言ってほかの路線を削ることはできない。建設課で除雪路線の見直しを行い、何とか除雪費を削減しようと区長さん方に無理なお願いをしてきたところである。建設課からは除雪路線が増えるとは何かと怒られたが、我々としてはどこかにつくらなければいけないというなかで、最大限できるとしたら何ができるかを考えた。実際に施設をつくるとなれば除雪路線は伸びるが、今まで無い所に施設をつくる以上、必要になる経費だろうと考えている。
20	Q	う回路として設定されている浦佐八色4号線は、圃場整備を行なったとき、農免道路として整備した道路である。今でも「一般の方の通り抜けはご遠慮ください」という札が立っており、市道や県道とは少し性質が違うと思うし土地改良区のこともあるので一般車を通すと簡単に言えるものなのか。(鰐島)
	A	浦佐八色4号線は、市道認定はされているが、実質は農道であり、土地改良区からも勝手にこんな計画を立てられても困ると怒られた。舗装圧が薄く、パイプラインが損壊する心配があること、農作業に支障になることも指摘された。今後、土地改良区と協議しなければいけないと思っている。しかし、大型車の進入は規制されているが、一般車の進入までは規制されていないと思う。処理施設を設置した場合、規制をかけない限りはこの道路に一般車が入ってくることが予想されるので、この路線を設定したが、浦佐八色集落からの指摘で、第2案として高速道路の側道もう回路に設定した。

21	Q	県道塩沢大和線は県に拡幅改良を要望するとしているが、市道(浦佐八色4号線又は高速道路側道)とどちらの改良を優先するのか。県道塩沢大和を改良した場合、バイパスを通ってきた車は、やはり県道に入ってくるやすいのではないかと。市道を改良してもバイパスを通ればすぐ県道塩沢大和線に出てしまうので、利用されないのではないかと。(鍛島)
	A	県道と農道(側道)両方の改良が必要だと思っている。ごみ処理場ができる、できないに関係なく、県道塩沢大和線は幅員が狭く交通量が増えている。17号バイパスの虫野トンネルが2年ほどで開通した後、浦佐側の工事が始まる。その工事が完了するまでは県道の交通量が増えていくことが予想され、県道の拡幅は南魚沼市としても要望していかなければならない。しかし、ごみ処理場への搬入ルートになると、二市一町で要望することとなり、推す力が違ってくる。ただ、相手が県なので我々が簡単にやりませとは言えない。農道(側道)は、市道なので二市一町で腹を決めて予算の上限はこうだと決まれば我々の責任でやっていくことはできる。 農道(側道)への迂回は、看板等で誘導しなければならない。また、市報などでもルートを示していかなければならない。一度道を覚えてこっちの方が近い、来やすいというのが分かれば2度目、3度目は新しい道を通る可能性は高いと思う。
22	Q	浦佐八色4号線は土地改良の際に皆がお金と土地を少しずつ出しあって作った道であり、農業のために使う道であると思われている。市道だからといって好き勝手に使われては困る。この村は何があるわけでもないが、車に乗って5分走れば駅や病院があり主要な所に行けるとい環境ながらも静かな環境で安心して生活ができることが利点である。お年寄りが散歩していても交通事故をあまり気にすることなく過ごせる。仮に浦佐八色4号線を除雪すると言われても、冬期3か月の利便性のために残りの9か月不便を強いられるのであればこの道を使ってもらいたくない。(浦佐八色)
	A	このことについては、大和郷土地改良区からも指摘されている。しかし、施設ができた場合、通行止めにならない限り一般車両が入ってくる可能性があるため、その点は地域の皆さんと一緒に協議しながら対策を講じなければいけないと考えている。これは他の路線にも言えることである。
23	Q	資料で示された予想交通量というのは、あくまでもごみ処理施設にごみを持ってくる車のだいすうであって、温浴施設をつくった場合の利用者の分までは考えていないのか。 二つの施設を一つにするのが、無理なのではないかと何となく思っている。やはり距離がある。(浦佐八色)
	A	温浴施設等付帯施設の利用者による増加分までは算定していない。自己搬入車とパッカー車を足した数字である。付帯施設利用者は、建設する付帯施設の内容が未定であるため推計できなかった。
24	Q	湯沢町から高速道路を使って、大和スマートインターから処理場に向かう車もあるのではないかと。(浦佐八色)
	A	湯沢町の担当者とも協議してみたが、高速道路利用者も全くないとは言えないが、数字までは掴めなかった。あったとしてもごく少数ではないかと。
25	Q	う回路の工事は、二市一町の負担で行なうことになる、二市一町の皆さんに道路改良を行なって良いか、何億かけてもいいか、聞かなければいけないのではないかと。そこで反対が出れば駄目になるということか。(浦佐八色)
	A	南魚沼市において地元の事情等を勘案して事業を進めるといのは、他の市町の首長から概ね任されている。しかし、それぞれの市町が予算を盛って支出するわけなので魚沼市も湯沢町も議会を通さなければならない。その時に説明はきちんとしなければならない。両首長は道路改良等の必要性については同意していただいている。

26	Q	<p>う回路の設定について、浦佐八色4号線の代替案として高速道路の側道が示された。しかし、いくら案内看板等があっても高速道路側道まで行くより浦佐八色4号線の方が近いので、浦佐八色4号線に入ってくる車が増えるのではないか。この道路は車も通らず空気も綺麗なのでお年寄りのウォーキングのメインルートなのである。また、この道路のすぐ脇に農業ハウスを建てているが、軽自動車1台通っただけで台風のような風を受ける。夏は埃が舞ってハウスの中が埃だらけになる。消毒する時も車が通るので、この時に埃が舞うとユリの葉に付いてしまう。また、農耕作業をした車が通ると土を落としたままにしていけるので、その土が埃となりそれが舞い上がってハウスの天井に付いてしまい汚れてしまう。ハウスに上がって掃除をするわけにはいかない。できればこの道路は完全に封鎖していただきたい。(浦佐八色)</p>
	A	<p>農作業、農業用施設に様々な影響があることはよく理解できた。そういった弊害を少なくする努力を続けなければならない。交通量対策においては、県道塩沢大和線を通りやすく安全に改良することが第一の目標ではあるが、県道である以上、我々で全て予算付けができる訳ではない。メインルートである県道を補完する意味でう回路の設定が必要と考えている。</p>
27	Q	<p>大崎小学校脇を通る車両が13%ほど増えるということだが、朝と夕方の通勤ラッシュくらいのイメージということか。夕方は、291号の信号から、集落センターの辺りまで車が繋がるが、そこまではならないということか。</p> <p>小学校脇は、制限速度が30km/hの道路だが、幅員が広いので30km/hで走る人はいない。また、現在は大型車の通行は規制されているが、柳古新田交差点の拡幅が完了すれば、一般の大型車も通行可能になるのか。大崎小学校では、大型車を通さないでほしいという話が出ていた。</p> <p>拡幅されて歩道もできたが、冬は雪のやり場がなく結局道に捨てるので、昔の道路と同じで道幅が狭く、上手く除雪をやらないと変わらないと思う。せつかく歩道ができて道が狭くなつては意味がない。(下一・二)</p>
	A	<p>そこまで車がつながることはないと思う。推計台数は、1日の平均の数字である。処理施設の受入は9時頃からのので、朝の通勤ラッシュにはかち合わない。問題になるのは夕方の搬入車両は大体17時までなので、通勤ラッシュとかち合う可能性がある。また、児童の登校時は、車両は動いていないが、下校時には影響が出る可能性がある。</p> <p>柳古新田交差点が拡がると大型車の規制を外さなければいけなくなると思う。大型車はできれば通ってほしくないと思うが、規制する根拠が必要となる。六日町では、学校周辺を通学ゾーンに指定し、全て30km/h制限にして通行量を制限するというやり方を行なっている。歩道工事が困難な中で、最近では、路線で制限するのではなくエリアで制限しようという形に考え方が変わってきている。大崎小学校の周辺のエリアについても大型車をどうするかというのは警察と協議してみた。我々も小学校脇の道路について迂回路を様々考えたが、良いルートがなかった。現在、最大限考えられるのは、委託関係にある車両には県道塩沢大和線まで回ってもらうことである。</p>
28	Q	<p>資料の通行想定図について、高速道路脇が点線で示されているが、ここを通るより、県道で鍛島を通ってくるのではないか。また、国際大学前の農道の拡幅は、地権者が穴地新田や八色原の方たちなので、用地買収に応じるとは思えない。</p> <p>4地区が反対している以上、道路整備もできないのではないか。(下一・二)</p>
	A	<p>う回路へは看板等で誘導する必要がある。</p> <p>各集落から建設予定地での施設建設に同意が得られなければ、道路整備についても実現できない。簡単なことではないと認識している。</p>

29	Q	<p>エコプラント魚沼へたまにごみを捨てに行くが、結構混む。中々車が進まず時間がかかる。それが二市一町で一緒ということになると想像ができない。スムーズにごみを出せるのが疑問である。</p> <p>仕事で島新田の施設に行ったことがあるが、あそこは混まないが、ごみの捨て場が少し分かりづらかった。案内が分からず、どこに行けば良いのか分からなかった。魚沼市は捨てやすいが混む。(下一・二)</p>
	A	<p>エコプラント魚沼は、通常、入口側と出口側に二つ付ける重量計が一つしかないために混むことがある。一度施設に入ってごみを降ろしたら再度同じ場所に戻ってくるという形になり、新しく来た車と重なり、どんどん混んでくる。新しい施設では基本的にそういうつくり方はしないので、かなり緩和されると思う。</p> <p>島新田では、日曜日に車が多少繋がることはあるが、エコプラント魚沼のような煩わしさはない。自分も島新田で待たされたことはほとんどない。大体スムーズである。</p> <p>魚沼市は可燃ごみと不燃ごみを同じ場所に降ろせるので、そういう面では楽かもしれない。島新田は可燃ごみと不燃ごみが別の施設になっているので少し手間がかかるが、計量や動線を考えると別々にあったほうが、恐らくスムーズになると思う。新しい施設では、敷地内に可燃ごみと不燃ごみの処理施設を近接して作りたい。</p>
30	Q	<p>湯沢や小出の奥からごみを持ってくる人は非常に遠くなる。たまに「なぜそんな遠い所につくらなくてはいけないのか」という声を聞くが、そういう方たちにはどういう説明をしているのか。浅貝方面や魚沼市の奥の地域から反対はないのか。(穴地)</p>
	A	<p>まだ、そういう所には説明に行っていない。各市町で必要に応じて説明していただいていると思う。なぜ、この場所を選定したのかという質問は多いが、魚沼市または湯沢町のどちらかに片寄った場合は、どこかにストックヤードをつくらなくてはならず、何十年も不利益を被る場所が出る恐れがあるので、二市一町の概ね真ん中の辺りということで選定した。どうしても遠くなる所はあると思う。施設が一箇所になれば二箇所に施設があった時と随分変わってくると思うので、ごみの収集のあり方も変えないといけないと考えている。六日町の方や小出の方たちは、自己搬入が中々難しいのではと思うので、そういう不満はあるかもしれない。</p>
31	Q	<p>通行想定図が示されたが、信号機の数は増えるのか。道幅はある程度拡げるのか。(穴地)</p>
	A	<p>県道や国道291号の入り口には信号機の設置が必要になると思う。しかし、距離制限があり、あまり近くには付けられないので公安と協議しなければならない。実際の交通量は何台なのかという数字を掴まなければ公安も動けないので、施設稼働後の状況を見たうえでの判断になると思う。</p>
32	Q	<p>大崎小学校脇の道路の交通量が増加することを心配している。通学バスが小学校脇の道路に停車することで非常に混雑する懸念がある。何とか学校脇の道路を通らないように迂回できないかと1巡目の説明会で要望していたが、今回それは困難だという回答があったので少し残念である。(上・寺・平)(原・横)</p>
	A	<p>小学校脇の市道の迂回は困難である。委託関係にある収集車は県道を回るよう指示できるが、一般の持込車両は指示が困難。通学バスの安全性については、教育委員会と協議する。</p>
33	Q	<p>島新田では道路整備すると言っていたのに1本の道が整備されただけで、あとは細い道のままで、立て看板だけという話を聞いた。そういうことが絶対に無いようにしなければと思っている。道路を先に整備してから施設本体をつくるということであれば分かるが、本体をつかってから道路を整備するといっても整備した道路に車は入らないで既存の道路を使うと思う。そういう点は約束したらきちんと整備しなければならない。(上・寺・平)</p>
	A	<p>道路も含めて施設整備全体の同意を得た中で進めていきたい。約束したことが実現できるよう努力していく。</p>

34	Q	道路改良案は市の道路担当課などと協議してうえで作成したのか。 これだけの範囲を道路改良すれば1路線あたりの搬入の台数は減ると思うが、反対に言うに至る所から収集車が入ってくることになる。私はこの図面のように分散させる必要はなく、国道、県道を基本に考えて搬入させるのが一番良いと思う。この図面だと信号機の設置や冬季の除雪などが必要になる。それよりは、基本的な路線を通らせて搬入させる方法を考えるべき。(上・寺・平)(原・横)
	A	道路改良の案については、建設部局と打ち合わせを行ない、現場も見たうえでルートを設定した。土地改良区からは安易に農道を利用することについて大変叱られた。ただ、我々は、予定地に施設をつくった場合、これだけの広い農道があればどうしても自己搬入車が入ってきてしまうのではないかと、そうであれば、その道路を集落に迷惑がかからないように整備を先にしておくべきではないかという発想があった。ルート設定は、まだまだ煮詰めなければいけない問題である。 除雪路線の見直しで7kmほど減らすことができた中で、この地だけ増やすということは建設部局から大変叱られた。しかし、ここに施設を建て、二市一町がここで運営していくということになれば、除雪路線は増やさざるを得ない。アクセス道路は1ヶ所だけでは危険であり、何かあった場合の迂回・回避ルートが必要。
35	Q	搬入路は、久曲川沿いの道路をメインに考えるべき。除雪も川に飛ばせば楽だと思う。農道を除雪すると春先の排雪作業が必要になる。県道、国道に入り口に信号機を付けてはどうか。(原・横)
	A	久曲川沿いの道路は、現在も除雪路線であり、メインの搬入路としては有効だが、穴地新田集落内の291号接続部分の見通しが非常に悪く危険である。
36	Q	大崎小学校脇から柳古新田の市道を迂回するルートとして、てんまる杉の手前の道路(現在通行止め)を改良し、そこから今町新田に向かう農道を通せば③Aの道路に繋がる。(今町新田)
	A	提案していただき有難い。雪消え後、現地確認して検討する。
37	Q	今町新田区からの要望として二つある。 ①県道一村尾大崎線の集落側(南側)ガードレール付の歩道があるが、反対側(北側)はガードレールもなく歩くことができない。県道の北側の方が小学生が多く、集落内から学校に通う子は少ない。したがって、小学生は県道を横断して南側の歩道に渡らねばならず、現在より交通量が増えると交通事故の危険があると思う。昨年、市に要望書を出して警察からの回答が来たが、「大和橋から今町新田集落の200mの間に、横断歩道を3つも付けることはできず、1つしか付けることはできない」。また、「通行量を調べなければすぐには回答できない」という回答だった。どうも納得できない。県議にも陳情した。この問題は、資料にも記載してあるので検討していただきたい。 ②通学バスの問題で、海士ヶ島新田の小学生は、冬場はバスが出ているのに対し、当集落はバスが出ていない。冬期だけでもバスを出していただきたいと要望したが、距離の問題等で難しいという回答だった。当区としては継続的に要望を出していきたいと思っている。少子化で学校の統合が進んでいるが、旧大和町で新しくできるごみ処理施設の近くに小中一貫校をつくれればエネルギーも有効利用できるのでは。(今町新田)
	A	①横断歩道については対策を検討したい。(新) ②通学バスについては、運行基準だけで決めて良いのかということを検討し始めている。歩道の設置というのはとても時間が掛かるので、冬期で危険な箇所はバス通学に切り替えていくべきではないかということで、教育部と協議している。 小学校の統合については、第一上田と第二上田、石打と上関小など統合が考えられているが、私は、2校が1つになっていくという単位で良いのかという思いがある。旧塩沢町は旧大和町と同様に最初に中学校を統合させた町なので、統合への理解は得やすいと思っている。したがって、塩沢の辺りに1つという考え方もあるのではないかと私は考えている。話をすることをタブーにしないで見直していくことも必要だと思っている。ただ、この地域の学区をどうするという話ではないので注意していただきたい。

38	Q	<p>①1巡目でも要望したが、水尾地内の東側の歩道整備をぜひやってほしい。現在も非常に除雪に難儀をしているが、圧雪された状態で道幅1mほどの歩道を120mほど毎日登下校する子供たちが歩いている。集落の約半分の児童がこの歩道を通るが、非常に危ない状況が続いている。</p> <p>②水尾地内の歩行者専用の信号機があるが、昔、その交差点で一人が亡くなっており、また残念なことに昨年の12月21日早朝に一人亡くなっている。死亡に至らない事故も3、4件起きている。本来は歩行者専用の押しボタン式信号機なのだが、国道291号の交通量が多くなり、国道に出るために車の運転手が車から降りてボタンを押して出なければならないというのが現状である。これは交通量が多いがためにやむを得ずの策だと思う。予測しているMAXの交通量だとかなりの交通量が増えることになるので、道路改良は水尾として最重要課題だと思う。</p> <p>③県道塩沢大和線の大崎小学校脇のルートについて、現在でさえ交通量が多く、国道に出ようとする車が、横断歩道を跨いで信号待ちをしている状態である。これから将来を見据えた中で、通年のバス通学が一番水尾の子どもが安全に登下校できる方法ではないかと思う。PTAの方も水尾区民全体もそう思っていると思う。これを機会に改良できるのであれば改良していただきたいし、できないのであれば通学バスを検討していただければ有難い。(水尾)</p>
	A	<p>交通の問題は、ごみ処理施設の建設如何にかかわらず大きな問題である。</p> <p>①歩道改良については、県国道の問題であり、市が予算を付けてやるとは言えないが、色々な形で県に要望している。</p> <p>②信号機の設置は中々話が進まない。1時間当たりの最大交通量が300台以上という基準があるそうだが、291号の交通量が多いが、交差する市道の交通量が少ないというのが警察の見解。実際に事故が多発している箇所であり、継続して要望していくべきである。</p> <p>③歩道の設置が遅々として進まない中で、将来的にはバス通学の拡大を図るべきであると考えている。そう簡単に全てできるという訳にはいかないが、ここだけでなく、他の道路も大変な場所があり、それを全部歩道で解決するというのは難しい。</p>
39	Q	<p>工業団地ができてから水尾の人は、横断するにも国道に出るにも苦勞している。ごみ処理施設の建設は、そういう点をまず直していただいてからの話だと思う。同時に進めていくと言われても、それができないのになぜ先の見通しができるのか</p> <p>あの道路は県道だが何年経っても整備されない。一昨年も事故があった。そういうことを解決しないで新しいごみ処理施設と言われても、理解できない。(水尾)</p>
	A	<p>道路問題を解決してからごみ処理施設をということだが、中々、県道の改良は簡単にいかないし、改良の要望があるのはここだけではない。皆さんが言うのもその通りだと思うが、中々解決しないというのは我々も歯ざりする思いでいる。道路の問題は、ごみ処理施設に関係なく課題になっているが、(処理場建設は)解決するための大きな力になることは事実。道路問題を解決してからごみ処理施設の話を持ってこいと言われてもそれは了承しかねる。</p>

No.	6. 最終判断について	
40	Q	2巡目の説明会だろうが何だろうが最初から賛成はあり得ない。集落の97%が反対しているなかで、市長や職員はどのラインで断念するのか、今のうちに明確にしてほしい。(八色原)
	A	1巡目の説明会の際にいただいた質問等に対して、2巡目で説明させていただくと約束させていただいているので、これはないがしろにはできないと思っている。1巡目に出た質問に対する回答を示したうえで、皆さんにもう一度考えていただけないかと考えていた。しかし、その中で1巡目の説明会が終わって反対署名が出されたのは私としては残念だった。これはそうしないでほしいと私からお願いしていたはずである。これについては残念だったが、2巡目の説明会でも様々なご意見があると思うが、2巡目をやり終えたうえでもう一度考えさせていただきたいと思っている。
41	Q	賛否についてアンケート等を実施する場合は、誰が見ても中立な立場の人間が作成に関わること、集計についても中立な人間が関わるように願う。それに関連して、例えば、アンケートで多数決を採った時、当集落は97%が反対と言っていたのに蓋を開けてみれば80%だったということになれば、誰が賛成に変わったのかということになると思う。したがって、集計結果の公表等についても区長等と調整しないと本当にに内輪揉めが起きしまう。(八色原)
	A	それは心がけたいし、そうせざるを得ないと思う。疑心暗鬼を生むようなやり方は絶対にしてはいけない。どうい方法が良いのかは今ここでは言えないが、肝に銘じたい。お約束したい。もう少し具体的に合った段階で相談させていただきたい。
42	Q	最終的な判断を問うと言うが、そのタイミングはできるだけ早くした方がよい。このまま話が長引き、2つの施設の老朽化が進んで市民10万人のごみのやりどころがなくなり生活に大きな影響が起こった場合、新しいごみ処理施設から直接影響を受けない9万5千人の人たちはどうい考えになるか。「あそこの用地は国際大学が売ると言っている、市長は既に40回説明会を行なった、確かに反対住民は少しはいるかもしれないが老朽化が進んだ2つの施設があるからどこかにつくるしかない」となった時、市長が早めに最終判断のタイミングを決めなければ、ここにいる人たちははとても酷なことが待っている可能性がある。一般の9万5千人の人たちからすれば、あの人たちのせいで新しいごみ処理施設がつかれないということになる。それは、住民の分断を生む。最終判断のタイミングはできるだけ早くした方が、住民にとって良いことだと思う。(穴地新田)
	A	静岡県の市は10年もかけたという話も聞いた。そんなことをやっている時間はない。それは、現在の島新田の施設、小出の施設は老朽化が進んでいて税金を投入して故障箇所を直している。今年も1億数千万円が運営費とは別にかかっている。こういうことを含めて早く決めなければいけないという思いもある。 ただ、これは私だけで決められない。いつ判断するか日には言えないが、色んな状況や意見を聞いて帰らせていただく。勝手なことはできない。 この人のせいにするのはもつてのほかであるので、それはきちんと判断するつもりなので信じてもらうしかない。
43	Q	できれば今年度中に決着をつけてもらいたい。各集落とも、次の区長をお願いするに当たって、この問題で現在大変苦労しているので、これを次の区長に引き継ぐというのも次の区長を見つけるのも大変だしお願いするのも大変である。資料には1年、2年と書いてあるが、そうなると地区の役員になる方は大変だと思うので、できるだけ早い時期に決着をつけてもらいたいと思う。(穴地新田)
	A	結論はいつ頃出するのか。既に12月で年が明ければすぐに年度が変わり、区長も変わる。次の区長もこれだけのことになっていけば嫌だと思う。なり手がいない。(下・二)
	A	その話は他の所からも色々聞いている。まだ何とも言えないところがあつて申し訳ない。

44	Q	概ねの同意という言い方をされるが、概ねではなく反対者がいればできないということで説明を受けているのだが。(海士ケ島)
	A	関係集落に賛否を採った時に最低でも賛成が反対を上回るようであれば駄目であるということであった。今のところはそういう認識で良いか。(鯉島)
45	Q	最終的な合否の判断について、市で主導してやるように書いてある。4集落の署名は市の方として重く受け止めているということだが、それでも建てられると考えているということか。最後は周辺集落の賛否で反対するところが一つでもあれば建設しないということは当初から言っている。それが前提にあるのであれば、1回目に説明を受けた段階で集落として反対が出た場合はこの計画は無くなるということでも良いと思う。市がある程度の次期なり、やり方なりを主導するということは、市はありきで進めているのではないかと皆が捉えるのではないかと思う。 集落ごとで合否を判断してはいけなことはないと思うが、市としてはやらせないということか。反対署名ではなく、村として総会なりをして最後は決めてもらうか個別に賛否を問うと書いてあるが、そのやり方については市が主導するということか。(穴地)
	A	こういう問題は賛成かどうかを問うのは難しい。二市一町で行なうので我々だけで決められる問題でもない。決め方は非常に難しいと思っている。すでに署名が出ているから他所を考えなければならぬということだと、どこに行ったら同じことの繰り返しになって建設場所を決められなくなると思う。したがって、そういう風なもっていき方は止めていただきたいと私は思っている。必ず皆さんに問う時が来る。例えば、緊急の集会等賛否を問うても、反対者が多い中では中々賛成という声は上げられないでしょう。 どういうやり方ができるかということであるが、市だけでやり方を簡単に決めることはしない。村の中が割れてしまっても困るのでどういうやり方が一番良いのか慎重に考えさせてほしい。これは、今ここで議論しても駄目だと思うので勘弁していただきたい。ただ、無理やりという形はとらない。そこを信じてもらいたい。
46	Q	反対署名があった場合はつくらないという話が資料にもあると思うが、平成29年に、公募で手を挙げた集落について、周りの集落に反対されて断念したというのは、署名があつて撤退したのか。今回は署名があつたのに対してまだ先に行くのか、それともここで反対があつたのでこの案は廃案にするという判断になるのか。(穴地)
	A	反対署名で断念するという考え方はしていない。1回目の説明会の後、すぐに反対署名が出てきた。意思表示としては重大に受け止めているが、我々としては2回目で様々な不安事を説明させていただき、ごみ処理場の悪い面だけでないところも考えていただいたうえで決めてほしいと言ってきた。したがって、反対署名というのが集落の皆さんの最終的な判断と私は思わないつもりである。ごり押しするつもりはないが、もう少し地道に話をさせていただければと思っている。 平成29年2月に断念した一般公募は、3つの集落が立候補したが、その周りの集落が反対した。その時は署名ではなく周りの集落から反対があり、いさかいになりそうだということで断念した。
47	Q	静岡県でごみ処理施設を建てるまでに10年かかったという話があつたが、なぜ10年経って建てられるようになったのか。 絶対に反対という人はいると思うが、そういう人からすれば面白くない事である。施設を建てたとして、そういう人たちに市としてどのように対応をしていくのか。(穴地)
	A	静岡の例では、ずっと市からの話合いを拒否していた集落があつたそうである。それが10年ほど経った時に、「そんなことばかりしていても駄目ではないか、市の話も聞かなければいけないのではないか」という声が出てきたそうである。それから変わったということである。 どんな施設でも100%の方が賛同していただけることはまずあり得ない。武蔵野市でも、杉並区でも、そういう方は最終的にいらしゃった。そこでは、その方を無視するとか敵対視するというのではなく、むしろ相談事があればその人に先に相談に行く、または、積極的に資料を提示することで排ガスなどの排出量の検証を続けてもらっているそうである。一番厳しい目で施設を見ていただくという立場。施設ができた後の委員会に入っているメンバーは、元々一番反対の声を挙げた人が入り、その方が逆に理解者になっていくという説明もあつた。

48	Q	最終的には多数決で決めるのか。(穴地)
	A	基本的にはそういうことになるだろうが、それで果たして良いのだろうかとも考えている。例えば、集落で賛成何%、反対何%というのが出て良いのかという気がする。例えば、90%以上の反対署名を集めた集落もあるが、蓋を開けてみれば70%の反対だった場合、20%は誰だという詮索を始めてしまう。それが怖いという話も集落であった。そういうことは我々も避けたい。それをしてしまうと本当に集落の中が割れてしまうので、そうしないで結論を出す方法がないか今すぐには思い浮かばないが、非常に気を付けなければならない問題である。
49	Q	私は国際大学が未来永劫、今の形で存在するとは到底考えられない。もし、大学が撤退した場合、60町歩という広大な土地が非常に問題になる。これからつくるごみ処理施設は、エネルギーをつくる施設でもある訳なので、市がその土地を取得すれば新たな企業を呼び寄せるなど様々な事が考えられる。そういう意味でもこの施設は、ここにつくらなければならないと考えている。どこか一つの集落でも反対があればできないと書いてあるが、それで本当に良いのか。市長はすべての集落で同意を得る自信があるのか。(原・横)
	A	我々はそういう話を最初からしている。国際大学にこの場所につくらせていただけないかと最初に話に行った際、大学の理事長に開口一番に言われたのは「皆さんから土地を譲っていただけてきた大学である。市の方向性は理解できるが、周辺の皆さんの概ねの理解を得られない限りは容認できない」ということである。我々としては、将来の事を考えてもどこかが欠けても駄目だという思いで説明しているので、難しいことだとは思っているが、これは変えないつもりである。
50	Q	請願が出されているという話があったが、今後の市としての対応は。(水尾)
	A	我々としては、2巡目の説明会をとにかくやらせてくださいというお願いを、請願を出した方とお会いして話をした。最終的にこの請願で結論を出すかと言うと、請願を出されていない他の集落の方もいらっしゃるわけなので、この4つの集落だけで結論を出して良いのかという問題がある。そうすると、結局は全体で考える場をつくらざるを得ないと考えている。「4集落がこういう考え方だから結論は出ているのだ」、「1つの集落でも駄目だと言ったじゃないか」という議論でこられると、結論は出てしまっているような形になっているが、他の集落では別の意見もある訳なので、そのすり合わせは必要である。また、最終的に4集落が反対したから駄目になったというような終わり方はしたくない、その4集落を最終的な原因にしたくないという思いがある。結論をどうするのかというご質問に対しては、中々はっきりしたお答えができないが、そこまで考えたうえで我々は行動すべきだろうと思っている。
51	Q	地元の同意が得られなければつけれないと書いてあるが、同意をどのようにして取るつもりか。行政は、何かの構想があって最初に決めてしまえば、いくら反対してもできてしまうという例が多いので、同意がないとつけれないと書いてあると、とんでもないという気がする。(東)
	A	2巡目の説明に回った後でも、反対している集落の方々の意見は同じである。それを変えていくことは非常に難しいと思うが、我々は馬鹿正直と言われても説明していくしかない。できれば、現在稼働している施設をぜひ一度見ていただきたい。見ていただいたうえで本当に心配な施設なのか、将来的に不安が残る施設なのかということを改めて考えていただきたいと思っている。それくらいしか我々としても打つ手がないところである。国家プロジェクトというのは、かなり強力な法的な後ろ盾があつて行なうものである。廃棄物処理場はどの市町村にもあるものだが、ここに決めたからと言ってごり押しができるのであれば全国でそうしているはずである。静岡では10年掛かったと説明したが、10年というのは決して珍しくない。その期間を掛けてでも地元の同意を得てつくっている。それは市町村が主体となって運営するからである。市町村が住民を無視してつけないというのが大前提である。実際にここに決めたからと言っても搬入路をどうやってつくるのか、用地買収できるのかということになる。一つでもできなければ頓挫するしかない。全体の同意があるということが進めなければ何も動かないので、これは宿命だと考えている。一年前、二市一町の首長で国際大学の理事長とお会いし建設地についてお願いした時、開口一番言われたのは、市が考えていることは理解するが、周辺の皆さんの感情や大学をつくるために土地を提供していただいた経緯があるので、周辺の皆さんの同意は絶対条件である。それが無い限り国際大学としては同意することはできないということであった。反対している人が迂回路のことを含めて協力してくれるとは思えないので、建設を進めるには同意が必要である。時間がかかるかもしれないどのようにすれば良いか悩んでいる。

52	Q	こういう施設をつくるために結論を出すのは本当に大変なのだと感じている。私たちは生活していく上で必ずごみを出す。したがって、ごみ処理施設は世界中どこでも必須の施設である。けれども近くに来るのは嫌だというのが人間の心理だと思う。その中で、行政としてもタイムリミットがあると思うが、現施設が使えなくなるのはいつなのか、それまでにどういう結論を出さなければならないのか。(東)
	A	ほとんどのごみ処理場は、耐用年数20年で設計する。だが、20年で駄目になるものではない。小出の施設は稼働して23年目。大規模改修を行ない10年ほど延命した。30年稼働させるというのは少し怖いので、そうなる前に新たな施設を建てなければならない。島新田の施設も平成16年にできたので、約14年が経過したところ。すぐに耐用年数を迎えてしまう。毎年定期点検を実施しているが、想定外の箇所の修繕が必要になったり、片炉しか動かず長岡や新潟までごみを持って行って焼却していただいたりした。そういう事態が起きてしまうので、重大な事態にならないうちに新施設の整備を進めていかなければならない。静岡の例のように10年も交渉に時間をかけるのは無理である。そんなに時間をかけずに結論を出していかなければならない。しかし、いつまでこうすると具体的に言うことは今の段階では申し上げられない。我々も切羽詰まったところにいるのは確かである。
No.	7. 合意がなければ建設しないことについて	
53	Q	八色原も周辺集落に入るといって納得させていただく。それに伴い、A48の「1つの集落が反対した場合であっても建設を実施することはできない」という考えは本当にそのとおりか。(八色原)
	A	そういう思いで取り組む。これは当初から言っている。そうでなくては困ると思っている。
54	Q	反対者に分かっていただけなかった場合、市として、1巡目に丁寧に説明した、視察も実施した、2巡目も同等に丁寧に説明したからといって、推し進めるということは絶対ないか。昨日、部長に確認した際は、それはありませんと言っていたのだが、市長に確認しておきたい。2巡目の説明会はそれが前提にあって受けるのである。そういうことである。(八色原)
	A	それは、本当に強行しないかという意味か。先ほども言ったが、そういうことはできないと思っている。しかし、2巡目の説明会で皆さんに分かったと言っていたのであれば嬉しいが、そんな簡単なことではないのは良く分かっているので、2巡目で終わるのかどのように判断するのか、良く考えながら皆さんと膝を交えていきたい。このことについては、市長である私を信じていただきたいと思う。強行することは無い。
55	Q	これまでの説明だと早ければ12月に国へ交付金の申請をしようと言っていたが、今年中には無理と考えて良いか。時間をかけて議論していただかないと困る。ライジングはなしでお願いしたい。(海士ケ島新田)
	A	今年は諦めた。もう少し時間をかけさせていただきたい。ライジングはなしである。それはできない。
56	Q	1つでも反対多数の集落があればこの計画は終わりにすると書いてあるが、果たしてできるのか、できないのか。(鍛島)
	A	私も心配しているくらいで皆さんも心配だと思う。しかし、仮に最後、反対の集落が一つに限られた場合は、私は1軒1軒回る覚悟でいる。だから決めるのは難しい。皆が反対したから「そうですか」と帰るようでは、市長はやっていけない。将来必ず良くしたいという思いもありながら、迷惑施設でもあるという本当の事を話しながら理解していただけるようにしたい。10年粘るとい気はないが、時間を見ながらやっていかなければならない。
57	Q	反対署名について、柳古新田はパーセンテージが下がるかもしれないが、穴地新田、海士ケ島新田、八色原は戸数に対し9割以上が署名している。これがある以上は、建設は無理だということになると思う。これを無視してやるということは絶対ないか。この人たちは生活がかかっている。地元の方に話を聞くと馴染みのパイヤーから施設があれば無理だろうと言われたそうである。焼却場ができれば値を下げる、買えないと言われたということである。生活がかかっているのである。このままだったら建設はできないという事でいいか。(上一・二、寺中、平沢)
	A	無理やりはできない。最初の時からそういう話はされていた。最終的にこういう結果になればできない。違うところで影響が少ない用地を選定しろと言われるが、南魚沼中がブランドの地で中々難しい問題がある。

No.	8. 農作物等への風評被害について	
58		<p>この地は園芸が盛んであり、園芸や観光施設があるところは、最初から避けて考えるべきではなかったかと思う。自分が住んでいる場所に置き換えて考えてほしい。市長や職員も同じ立場であれば反対にまわるという気がする。我々は園芸に対する影響や交通量の増加について心配があり、市の説明に不信感がある。</p> <p>悪い情報が発信されると、あっという間に拡散してしまう。我々の技術ではどうにもならない(八色原)</p>
	Q	<p>農業をやっている身として一番怖いのは風評被害である。一方的なことを書いて、ブログに上げてしまえば払拭ができない。何も悪い物が出ていなくても煙突が一本立っているだけで、それを見た人が、「ダイオキシンが出たようだ」と一つ記事に上げるだけで広まってしまう時代なのである。それが誰でもできる時代で日本だけでなく世界中の誰でも見られる時代である。この地にそういうネタになる要素は作ってほしくない。「八色のスイカは何か混ざっているらしい」という一言がブログに載るだけで終わってしまう。どんな些細なことでもネットに上げられたら終わってしまう。何も無くたってネタになってしまう。どこかの産地がここは面白くないからネットに上げてしまえと言ってしまうとそれでは終わりで済む。(穴地新田)</p>
		<p>自分は建設に反対である。その理由の1つが農業への影響である。今後の米政策の不安から全国で農業振興を盛んに行なっており、八色ブランドの発祥の地である当地は園芸を一生懸命やっている地域である。しかしその販売には苦勞している。実際に焼却施設ができた時、いくら安全であると言っても、バイヤーや消費者の方が施設を見てどういう感想を持つか。大規模な風評被害が起きれば補償という話にもなると思うが、例えば、1軒の人が「施設があるからここから買うのは止めよう」という行動に出た場合、数字としては絶対に表れない。風評被害を補償すると言われても、そこまではできないはずで、納得できるものではない。今のまま農業を続けさせてほしい。(海士ケ島新田)</p>
	A	<p>今の技術で臭いやダイオキシンの問題はないと思うが、やはり風評被害の心配がある。大丈夫だという例も挙げただいたがやはりそれが一番心配である。(鰐島)</p> <p>すぐにネット等で拡散されてしまうという世の中の風潮があるのは十分分かっている。皆さんの所にはブランドのスイカや田んぼがあるということで、風評被害については最初から心配されていた。しかし、南魚沼中が自分のところをブランドだと思っている。このほかに別の場所で適地と言えるところは、なかなか見当たらない。</p>

	Q	<p>ダイオキシンの問題については、心配する必要はないと思っている。交通量についても、道路を改良するなり分散させるなりすることで解決ができると思う。私がどうも解せないところは、農作物に関する風評被害である。南魚沼市のふるさと納税の寄付金額が10億円に達したが、返礼品の内容を見るとほとんどがお米である。南魚沼市の基幹産業は何と言ってもお米だと思っている。これまでこの近辺にごみ処理施設がなかったのも、どちらかというところクリーンなイメージがあった。南魚沼市のお米は、美味しいのにプラスアルファとして盆地特有の昼夜の寒暖差や豊富な雪解け水という付加価値があって消費者から受け入れられている。だからこそ、これだけの寄付金が集まっているのだと思う。風評被害に対する補償は先ほどの説明のとおりで良いと思うが、消費者から非常に期待されている産地だと思っているので、消費者を裏切るようなことはしないでほしい。具体的にどういふことをすれば消費者が離れていかないかというのとは分からないが、そういうことも考えた中で検討してもらいたい。風評被害に遭ったらどうするではなくて、ならないような方法を考えてもらわなければならない。(今町新田)</p>
59	A	<p>なかなか答えを出しづらいことだが本当にその通りだと思っている。 私が石打で観光協会長をしていた当時、中越地震等があった風評被害が起きた。その時に感じたのは自分たちで風評被害をつくってしまうこともあるということである。例えば、旅館の方が「お客さんが減って」と口にしてしまう。これは、言われた相手には決して良いこととは伝わらない。お米も共通する点はあると思う。自分の心の中に風評被害をつくらないということが非常に大事だと考えている。また、ごみ処理施設をつくって、本当に被害が生じた場合は補償しなければならない。これはごみ処理施設だけでなく別の施設であっても行政が責任を取る義務がある。風評被害は非常に怖い面もあるが、きちんとした話し合いや毅然と対応する体制をとることが重要だと思っている。私も農業をやってきて、農家の方の気持ちを察すると心配はあるだろうと思っているので、反対するのが悪いとは当然言えないし、心配するなどと言っても中々難しいだろうなと思っている。どうやって理解していただけるか一緒に取り組んでいきたい。 一つの事例として、東京では東京ごみ戦争と言われた行政と住民との紛争があった。その時に一番心配していた方、特に反対を唱えていた方たちが、現在では施設を監視する側の委員になっている。行政と一緒に施設の運営について議論したり、何かあった時には毅然と対応したりするなどお互いを高めあっている関係になっている。そういうことが目指すべき姿ではないかと思う。</p>
60	Q	<p>現在の2施設において、これまでに風評被害で農産物が出荷できなかったという事例はあったか。(水尾)</p>
	A	<p>そういう事例はない。</p>
	Q	<p>この集落も風向きによっては煙が来ると思う。また、八色地内にある畑の地権者には水尾の方も数名おられる。風評被害というのは一番懸念される場所だと思うが、二市一町が「任せろ」と胸を張って言うてもらえば大分緩和される問題だと思うので、もう少し地域住民を安心させるような説明をしてほしい。(水尾)</p>
61	A	<p>風評被害については、先ほど、静岡の茶畑の事例を出したが、そこは反対が多く10年間も争った。最終的に合意できたのは、全国の自治体を見ても風評被害が見つからないということ、市が風評被害には毅然と対処するという、補償するという3点である。私が1巡目の説明会の際に補償について話をしたら「そんなことできるはずがない」と非常に叱られた。しかし、ごみ処理施設に限らず、行政がどんな施設をつくったとしても、そこに住む方の生活を脅かしてしまったら、補償するのは当たり前である。二市一町の首長同士でも、もしそうなった時はきちんと対応するということまで話をして今回の説明に臨んでいる。原発問題とは全く違う問題である。</p>
	Q	<p>国際大学の学生としては特別に反対という訳ではないが、米の生産地であること、また、スイカなど様々な農作物がこの地域で作られているという点で農家の方たちから心配があると言っていたが、具体的にどのような心配があるのか。反対に住民にとってどのようなメリットがあるのか。(国際大学)</p>
62	A	<p>農家の方が一番心配されているのが風評被害である。直接、有害物質が米やスイカに付着するという心配はされていない。イメージが悪くなるのではないかと心配である。スイカとごみ処理施設と一緒に写真を撮ってSNSに流した時、スイカが美味しく見えなくなるということである。これが一番の心配になっている。これについては我々も防止をすることができない、対策が取れない問題である。しかし、実際に風評被害が起きているのか、我々は実際に様々な所へ行って調べた。周りにサクランボが植えられている山形県にある施設にも行ったが、風評被害のようなものはないと言われた。色々な所を調べてみて、ごみ処理施設の周りで風評被害が発生した例というのは、実際には無いということが分かった。したがって我々としては、風評被害は無いと思っている。 住民のメリットについては、施設から発生するエネルギーを地元の方々、周辺の方々に沢山使っていただくのが一つのメリットである。</p>

No.	9. エネルギー利用について	
63	Q	140t/日をフル稼働した場合ということだが、フル稼働というのは365日と考えているのか280日程度なのか。ほとんど片炉で運転していると聞いたことがあるが、本当に可能なのか。実際の稼働状況を教えてほしい。(柳古新田)
	A	2炉が完全に稼働するのは60%くらいである。定期点検などで止めなければならないが、片炉になるのが5か月ほどあるのでその場合はエネルギー供給できないので、ボイラーを燃やすとか電気を買うとかしなければならないということである。例えば、船橋のように大きな施設で温浴施設だけでなく商業施設がついている施設では、2炉のうち1つ止まればすべてのエネルギー供給ができないので、代替の熱源やエネルギーを使って動かしている。
64	Q	井口市長の時代、ある企業が温泉を掘ったので有効利用しないかという話があったが、それには市は動かなかった。我々農家としては、温水を利用してハウスを暖めることができれば貸してほしいという話をしていたがそこまでいかなかった。なぜごみの廃熱だけは一生懸命に有効利用しようとするのか。また、温水を利用したハウスは何棟できると考えているか。一部の農家が恩恵を受けて末端の小さい農家が恩恵を受けられないことになれば納得ができない。温熱利用のハウスを作っても、限られた農家やJAだけが恩恵を受けるようなことでは納得できない。したがって農業ハウスを売りにしても農家は納得できないと思う。また、プールや温熱施設にしる、ここでなくても良い場所があると思うし、浦佐の公園などでも良いのではないか。(八色原)
	A	前市長時代の温泉利用の話は承知していない。(新) 農業ハウスはそんなに大きなものができるわけではなく、発生した熱量の4分の3は施設で利用するので、残った熱量で何ができるかということになる。600㎡のハウスが2棟分と考えている。行政がエネルギーを供給する形なので、個人対市で契約するようなことは考えていない。何らかの生産組合などを作って、その中で運営する形が必要。
65	Q	1軒や2軒がハウスで栽培するのではなく、湯沢町にあるようなハウスを建ててイチゴ狩りができるようにすれば、そういう施設のない大和、六日町地区には良いのではないと思う。こういう奥まった場所では、面倒くさいから行くのを止めるとなるので、国道17号沿いのように見えるところの方が良い。ここでない方がもっと有効利用でき、他所から風呂に入りに来るにしても来やすい。(穴地新田)
	A	この地にもそれ以上の価値があると思っている。
66	Q	私も最初に新聞報道を見たときは迷惑施設を国際大学敷地内に作ると思っていたが、いろいろな話を聞いたり武蔵野市や上越市の施設を視察に行き、危険性などの部分はかなり払拭された。相当なエネルギーが発生するので、ごみ処理施設には温浴施設を作ることが多いようだが、さわらびの講演の際、施設の隣に藻を培養させ、それを化粧品にする施設の話聞いた。温浴施設も良いが、企業を呼んできて雇用を生むような発想はないのか。(原小路、横)
	A	この資料で示したエネルギー利用は一例である。二市一町で決まっているわけではないが、これから高齢者が増えていく中で、ただの温浴施設ではなく、鬱や引きこもりにならないように、高齢者の健康増進のための施設を作っていくのが新しい方向だと思っている。この施設に周辺の地区の皆さんが集まり、そこから病院行きのバスが出るというのが将来像だと思っている。 企業誘致については、現在、南魚沼市が雪を利用して雪冷熱を利用する企業が来ないかと思っている。熱の利用も含めて十分に考えていけることではないかと思う。 逆に地域発展させ、雇用を生み出していけないと、ただの迷惑施設になってしまう。したがって、皆さんに一步踏み出して考えていただけないかと思っている。ごみ処理施設をここで受け入れていただけた場合には、将来の施策展開の中核になる場所だと思っているし、そうしなければならないと考えている。 J他の多くの所で様々な研究施設を作り始めているのに対し、我々は少しあぐらをかいているように思っている。農業支援施設は、農業のために取り組む施設だが、若い世代の農家やJAの方が中心となってやっていただきたい。

67	Q	<p>熱利用について、供給先の例が色々示された。冬の場合は農業支援施設等で利用できるが夏場はそこまで温水の需要はないと思う。必要のない温水の処理はどう考えているか。(フォーアアップ)</p>
67	A	<p>電気でエネルギーを供給する方法であれば、夏場余った分は別の方法で使うという方法や、現在は買い取ってもらえないが電力会社に売電するという方法が考えられる。温水の場合は、なくなったら空中に放出するしかない。垂れ流しにすることは絶対できない。現在ではどの施設でも必要のない熱はファンで飛ばして空気中に拡散させるという方法を探っている。</p>
68	Q	<p>熱エネルギーの有効活用の例について、温水や電気を発電すると説明があった。25,000MJ/hをW数に換算すると7MW/hに相当するが、7MW/hの電気を発電するというのであれば、例えば、この地域全体の電力使用を含めたベンチマークのようなものはお考えになったか。ベンチマークというのは、南魚沼、魚沼全域でどのくらいの電力を消費しているのか、電力会社からの供給を受けているのか。また、この施設によってどのくらいの電力を発電できるのかということを対比したうえでどのような形で有効活用するのか。例えば、国際大学にということだけではなくて、電力発電施設として大規模発電ができるようになれば南魚沼、魚沼が炭素の排出がゼロになるということも可能になってくると思う。したがって、国際大学を含めた近隣集落への供給や農業施設、プールをつくるなど、この地域だけの発想だけでなくもっと大規模な発想でお考えになったか。もしくはその予定はないか。発電能力があるのであれば、地域にとって非常に重要な熱資源になる訳なので、ここが非常に大切なポイントだと思う。</p> <p>この地域は東北電力だと思うが、日本には様々な電力会社がある中で、将来的に他の電力会社に売ることや、もっと発電ができるようになったら先ほどのようなことも考えられるだろうか。(国際大学)</p>
68	A	<p>確かに大きなエネルギーを作ることができる。しかし、あくまでもごみ処理施設は発電所ではないということである。</p> <p>発電所というのは、コンスタントに安定して電気を発生させることができるが、ごみを処理する施設である以上は稼働を停めて点検しなければならない期間が必ずある。365日は稼働できず、大体280日くらいで2つの炉を交互に運転していく形になる。そうすると作れる電力にも限りがある。また、使える範囲にも限りがある。全てを賄えるほどの電力というのは、現段階のごみ処理施設では作れない。</p> <p>現在、ごみ処理施設から発生する電気を使う方法として大体2つのパターンがある。1つは電力会社に売るという方法。もう1つは我々が考えているように狭いエリアで使うという方法。カーボンオフの考え方というのは、日本でも進んできていて、ごみだけではなく下水処理場でも発電をしている。これはコンスタントに発電ができるのでそういう方法で電気を作っている方法もある。いずれも規模が限られるので、ご質問のような大規模なことまでは現在考えていない。</p> <p>現在は、東北電力が電力を買ってくれないので、どう使うかという問題になる。いずれは買ってくれるようになるかもしれない。電力は使う時と使わない時があるのでどうしても余るものである。余った電力は売りたいと考えている。</p>

No.	10. 先進施設等の視察について	
69	Q	先進地視察について、武蔵野市の施設は周りが住宅地だったと思うが、上越市の周りは何か。資料のアンケート調査結果を見ると、コースを選んだ理由として「周辺の環境が建設予定地と似ているから」というのが少なく、最新の技術に目を向けている人が多い。先進地は、周辺の環境と似ている施設を見るのがまずは先ではないかと思う。先進地で話を聞いたとき、施設の職員から聞いたのか、それとも地元の住民の方から聞いたのか。上越市の周辺住民は、どういう風に思っているのか聞きたい。(浦佐八色)
	A	上越クリーンセンターの周囲は田んぼである。 上越市の視察では、長年集落をまとめてきた区長に話をさせていただいた。上越市に地元からどなたか出ていただけないかとお願ひしたなかで、区長から出ていただけないということになった。自分たちのことだけを考えていても前に進まない。市全体のことを考えようということで住民意見をまとめたとのこと。地元から道路整備等の要望をしているが、信号機一つ付けてもらえないという不満も述べられていた。それも生の声だと思う。
70	Q	A36に山形県のさくらんぼ名産地とあるが、さくらんぼを植えたのは施設ができる前か後か。静岡県の施設は同意を得るのに何年かかったのか。(浦佐八色)
	A	サクランボ栽培が始まったのと施設の建設はほぼ同じ時期である。 静岡県では同意を得るのに10年かかったとのこと。
71	Q	先進地視察には魚沼市や浦佐地区、六日町地区の人間は行っているのか。ここありきで考えているのではないか。施設を建てれば幸せになるという議員もいるが、そんなに良い施設ならば範囲を拡げれば手を挙げるところ、納得するところが出てくるかもしれない。この集落はほとんどが反対なのだからもっと広く視察案内を出したらどうか。(八色原)
	A	ごみ処理行政は、二市一町の住民全てに考えていただかなければいけないので、今後は先進事例の視察やごみ処理行政についての考え方を話していく会を設けなければいけないと首長同士で話を始めている。今回(12月)の視察は関係集落の範囲で行う。
72	Q	ある議員のブログに、「講演会や先進地視察にほとんど参加していないようだ」と書いてあるが、視察のあった6月、7月はスイカと田んぼをしている農家として一番忙しい時期である。代りにやってくれる人もいない。視察に行きたいと言っていたが、行けなくて過ぎてしまった。この地域はほとんどが農業をやっている人で仕事を抜けれないで、行くことができなかった人も沢山いた。この記事を見ると視察に行かないのが悪いというようにしか受け取れない。
	A	(会場では回答せず) 参加可能な時期を検討したい。(新)
73	Q	12月に行なわれた先進地施設の見学に行った。そこで気が付いたことが二つある。一つは、私が見学した二つの施設では企業の持ち込みごみや個人の持ち込みごみが非常に少なく魚沼は多いということが分かった。これを如何にして減らすかを検討してほしい。規制ではなく持ち込みのごみを減らすことを考えたほうが良い。これは道路の問題にも大いに関係してくる。(鰐島)
	A	杉並区は、交通渋滞にならないよう、基本的に個人の一般可燃ごみの持ち込はできなく、パッカー車だけである。大型ごみだけは持ち込み可能。武蔵野市はステーションを作る場所もないため、家の前での個別回収となっている。我々は行政区の協力でステーション回収をしているが、これをもっと細かく、こまめにできるかがカギになってくると思う。自己搬入というのは施設周辺の方は楽になるが、指定ごみ袋まで自己搬入する車も見受けられる。もう少し拠点回収やステーション回収を中心に考えていければと思う。
74	Q	上越市の施設へ視察に行ったが、すごい施設だなと見て確認できた。地元の区長は、道路が新しくできたら事故があったという話をしていたので、信号機や標識の設置を含めて事故が起きない道路づくりを考えなければならないと思った。臭いはなかった。(下一、下二)
	A	上越市の視察では、施設周辺集落で上越市に信号機設置の要望を挙げているが、なかなか難しいとのことであった。我々も交通量の増加による事故があってはならないので信号機の設置をしなければと考えている。上越市の視察で一番驚いたのは臭いがしないことであった。我々の施設では臭いが気になるが、新しい施設は空気を外に出さずに引き込む仕組みとなっているので、ピットの扉が開いていても臭いがしなかった。また、融雪のための地下水利用はしないように、ロードヒーティングも考えなくてならない。

75	Q	先進地視察に行ったが、施設内や周りで臭いは感じられなかった。当市の場合は、反対している農家をいかに説得するかが重要である。ごみ処理施設周辺にさくらんぼ畑やお茶畑をつくる農家と反対している集落の農家との話し合いをする場が必要だと思う。こういう説明ばかりでは本当の声が聞こえない。例えば、上越市の施設周辺の農家がどう思っているのかなどを聞かなければいけない。この八色という土地は園芸が一生懸命である。施設の周りで園芸を行なっている農家との話し合いは絶対にやらなければならないと思う。(上一、上二、寺中、平沢)
	A	周辺集落の農家の方々から視察に行っていたかと思っている。視察先の農家との話し合いは難しい面もあるが、私たちが向こうの農家に「こういう話をしてください」という依頼はしてはいけないので、私たちが寒河江市のさくらんぼ農家に身分も言わないで話をしたように、直接、皆さんから聞いていただければ一番良い。
76	Q	私は1回目の説明の時に、施設周辺の地域の方に施設を建てるまでにどのような経過があったのか話を聞きたいと言った。そのうちに行なうということだったが、将来的にそれを実行する予定はないか。(上一、上二、寺中、平沢)
	A	杉並区では、東京ごみ戦争と呼ばれるほどの歴史があったが、現在は反対していた人たちが理解者となり、一番厳しい目で見守っている。上越市の視察では地元の方が出てこられてお話を聞かせていただけたが、かなり異例のことのようだ。上越市でも反対の活動があったが、その時の区長が「いつまでも反対していても前に進まない。どこかに作らなければならないのだから。」という話で、まとめられたようだ。農家や生産組合の方とコンタクトを取れば、と考えているが、民間の方をお願いするのは難しい。どこか接点を落ちたいと思っている。
77	Q	武蔵野市や上越市に視察に行ったが、武蔵野市は市街地に施設が建っていた。行って見て問題と思うところはなかったが、この地に作るようとしている所と条件が若干違うと思う。住宅が無いということでこの地を選定したのだから市街地ではない。また、当地は搬入のさせ方が特殊だと思う。色々な道路から搬入させようということなので、同じような事例を探して聞いてくる必要があると思う。(原小路、横)
	A	都会は個人持ち込みをさせないところが多く、パッカー車での収集が手厚くなっているが、当市では剪定枝や農業ごみが発生するため個人の持ち込みが必要になる。しかし、指定ごみに入れて持ち込むようなケースもあり、このような場合はステーション収集を推進して、個人搬入の台数を減らしたい。ごみで一番嫌われる生ごみは、ディスプレイャーへの切り替えを推進していきたい。
78	Q	南魚沼市と状況に近い施設を視察なり情報収集なりして発表してもらいたい。(原小路、横)
	A	情報収集は行いたい。(新) 私たちが説明するより、農家の方が自分たちで施設周辺で農業をしている方に話ができれば、理解していただける人も出てくるのではないかと考えている。
79	Q	上越市、武蔵野市、杉並区の3箇所の施設を見させていただいた。百聞は一見に如かずで全く心配はないと思った。プラットホームの中には入らなかったが、外に臭いが漏れないように二重、三重の対策を施しているという説明を聞いた。私が見た範囲では音も全く分からないし臭いも全くしなかった。武蔵野市では、市民がいつでも誰でも見られるようにどのくらいのごみを燃やしているかなど施設の稼働状況を示す表示板が道路に設置されていた。ああいう風にしておけば市民も安心感があると思う。先ほど、風評被害という話が出たが、市長が言ったとおり、私も風評被害というのは自分の心の中にもあると思っていて、自分たちが心配すると出てくるのではないかなと思う。そういうのは犯罪なので例外として、一番問題なのは自分たちが心配することだと思う。心配な人には施設を見てもらえれば納得できるのではないかなと思う。(今町新田)
	A	視察に行かれた方のほとんどは、施設の安全性や環境への配慮に対し、問題ないと感じていたようだ。悪意を持って風評被害を流す人もいないわけではない。

80	Q	反対意見が出ているということだが、そういう方たちは施設の見学に行った上でそう言っているのか。それとも全く見もしないで反対しているのか。私は上越市の施設に行ってきたが、全く問題なく早く作ってほしいくらいの気持ちである。上越市の地元の方も全く問題ないと言っているし、近くには住宅もあるし周りは田んぼである。(東地区)
	A	杉並区のように市街地の施設で事故があれば大変な騒ぎとなる。心配な気持ちはわかるが、それが絶対に起きないように管理するシステムとなっている。問題があれば暴走する前に止める技術を持っているのである。反対している集落の方も2,3名上越市へ行かされているが全員ではないので、そういう方こそ見に行っていたら、臭いや数値を確認していただきたかった。武蔵野市の施設は外観などのデザインを市民からいただいたそうである。非常に近代的で、施設の中でカフェを始めたということで、それができるくらいの施設である。
81	Q	ストーカ方式は他の自治体だとどれくらい稼働しているのか。例えば、今視察に行っているのは新しい施設だけだが、10年経った施設はどうか。初めの頃は良くて10年経ったら臭いが気になるということもあると思う。そういう所も視察に行ってきたほうが良いのではないかと。最新だから臭いはしないというのは分かるので、5年、10年経ったらどういう状況なのか確認してほしい。(フォローアップ)
	A	ストーカ方式は昔からあるオーソドックスな方式で、ごみその物の火力でごみを燃やすという方式である。島新田の施設は、LPガスを使って燃やして1,400℃くらいまで温度を上げている。ストーカ炉はごみ自身で燃えるので800から850℃くらいまでしか上がらないが、その温度でもダイオキシンが抑えられる技術が確立されたので、現在はほとんどストーカ炉が主流になっている。山形県寒河江市に視察に行ったが、その施設は建設されて10数年経つ施設で我々の施設と同じくらいの年数が経っている。確かに島新田や小出にある施設と同じくらいの時代につくられた施設は、臭い対策はあまり良くできていないが、島新田の施設も後付けで脱臭装置を設置した。メンテナンスを行わなければどんな良い施設でも駄目になる。きちんとお金をかけるところはかけて直すべきところは直すということを繰り返さなければ20年経たないうちに駄目になってしまう。ストーカ炉は安定して焼却することが出来るし、修理がしやすく一番安全だと考えている。運転経費の点からも非常に利点があり、現在8割がストーカ炉を採用しているそうである。
No.	11 国際大学との関係について	
82	Q	4集落から反対署名が出ているという話は国際大学の学長(理事長)に届いているのか。近隣集落が反対ならば売らないという考えに変わらないか。(穴地新田)
	A	先日、理事、評議員全員の前で話をした。非常に厳しい状況だが、2巡目の説明会を始める。これによってどうなるか分からないが、説明をずっと行なって作らせていただきたいという思いでやっていると言った。厳しいのだなということはあると思う。
83	Q	大学は地元から了承が得られなければ設置はしないと言っているとの説明だが、実際に私たちは反対しているのだから、大学は市と一緒に説明に回るべきではないか。その旨大学に依頼してほしい。ごみ処理施設建設の話があった時点で大学から各集落に「市からこういう話がきた」という説明があっても良かったのではないかと。それをやらなかったから住民は感情的になっていると思う。(海士ヶ島新田)
	A	大学側が作ってほしくてやっているわけではないので、大学側がここにきて説明する筋はないのではないかと。大学側で皆さんの親御さんや先輩のところに経緯を説明するというのであれば我々は止めることはできないが、我々と一緒に説明するというのは少し違うのではないかと。大学側には、説明会を回るなかで地元の方から大学側から説明してもらいたいという声が出たということを伝えさせていただいたが、話をしているのは南魚沼市及び二市一町である。
84	Q	国際大学に対して市は金銭的助成などを行なっているのか。大学の開学頃は、3億から4億円の寄付金が土光さんの力で恐らくあった。今は、寄付金が1,000万円あるかどうかと聞いたが大学の運営は大丈夫なのか。運営については問題ないと市長は認識しているということで良いか。春からこの話を聞いていると国際大学のためにあそこに持ってきたのではないかと感じを受ける。(柳古新田)
	A	私(市長)は、国際大学の評議員で大学の経営は良く分かっており、借金もずっと減らしていつている。リーマンショックなどで日本経済、世界経済が駄目になった時は大変だったと思うが、今は落ち着いてきていると思う。また、市のふるさと納税の他に国際大学のふるさと納税のコースがあり、その寄付金だけで2,000万円を超えている。その寄付金の一割を市で使わせていただいている。したがって、寄付金というのはいかに多い。大学の経営が非常に厳しいのではないかと話をされるが、今のところすぐに駄目になるということはない。

85	Q	一番大事な事を見落としていて、それは、学園都市構想との整合性の問題と野菜に対する風評被害の問題である。その点をどう考えているか。 (下一、下二)
	A	大学にも話したが、ごみ処理施設ができたからと言って学園都市構想がだめになるということは考えられなということである。自国に帰りごみ処理行政に携わる方もいるようだし、最先端技術の施設に触れることができる点では国際大学にもメリットがあるのではないかと。また、地元、大学の学生や教職員と一緒にいれる温浴施設やコミュニティの場ができることは大学側も望んでいる。ごみ処理施設の建設が学園都市構想を盛り立てる意味もあってこの場所を選び提案してきた。風評被害などが絶対はないという保証はできないが、客観的な数字や態度で防止していきたい。
86	Q	行政は総合計画を基本としながら街づくりを行なっている。旧大和町は、学園都市構想ということで他の自治体には無いようなことを先人達は努力してやってきた。私は、ごみ処理施設は必要だと思うが、あえて国際大学にその話の交渉をするよりも前に大学に学部をつくるべきであると思う。 旧大和町の歴代の町長は、国際大学や北里大学の本部あるいは理事長、学長と定期的に会談をしていた。文部科学省の決まりでは、大学院大学をつくるには学部の設置が条件ということである。市長も大変だと思うが、このことを含めて、国際大学や北里大学、国際情報高校のトップの方と忌憚のない意見交換を常日頃から行なっているかをお聞きしたい。それが街づくりの基本だと思う。(水尾)
	A	国際大学の理事長を始めトップの方々は、学園都市構想という中で、地域の方に土地を提供していただいて進めることができたという思いを常に持たれている。当初、思い描いていた構想通りには進めていないことに対して大変心苦しく思っているということが、第一声の言葉であった。そして、地域の方から土地を提供していただいた経緯があるので、周辺集落の同意を得たうえで進めてほしいと頼まれたところである。 学部の設置はそう簡単なことではないと思うが、国際大学としてはその思いは一つも消えていないと思う。 よく大学の経営の問題を取り上げる方がいるが、私が数字を見ているなかでそういうことはない。学園都市だからこそ、あの地に建てたいと考えている。いくら良いことを言ってもごみ処理施設だけで言えば迷惑施設である。しかし、周辺につくる施設、大学への関与の仕方を考えたなかでは、学園都市にマッチするものだと思っている。これを中々理解していただけない部分があるが、武蔵野市は学園エリアにごみ処理施設をつかって、そこからエネルギーを供給したり、建物そのものをシンボリック存在にしたりしている。そういうことも含めて考えなければならない。
	Q	国際町の住民は299人いる。当初は1月19日に国際町で説明会を行なう予定が変更になり3月に行なうということだが、なぜ変更になったのか。視察と説明会を同時期に行なった方が良いというのはなぜか。10月には2巡目の資料はできていたと思うが、国際大学の学生299人いるなかで日本人も30人いる。東京都や大阪府出身の方もいる。ぜひ、国際大学の住民の話を書いてほしい。(東)
87	A	日程が変更になったのは資料の英訳が間に合わなかったためである。国際大学に施設見学を打診した際、この時期は大学も忙しく3月にしてほしいと言われたので、説明と視察を同時期に行なった方が効率的ではないかということで3月にした。説明をして実際に施設を見に行くという一連の流れの方が良いと思った。前回の説明会から学生が半数は変わられていると思う。それを考えた中で英語版の資料を作らなければならないので、作成するのに時間がかかっている。

	Q	<p>国際大学の学生は、納税して市民としてきちんとやっているが、今回のごみ処理場の建設に関して市から直接連絡を受けたことが記憶にある限りない。</p> <p>広報誌さえ届かないのが現状で全て学校を通して連絡が来る。国際町の住民として寮に住んでいて、住民票を移して税金を納めているのに、ごみ処理場の一番近くに住む人間がなぜ市から直接情報など何も貰えないのか。国際大学の敷地内に住んでいる人間を何だと思っているのかというのが、率直な疑問としてある。</p> <p>この大学は50か国以上の300人近い学生がいて、その国の官僚や中央銀行で働いている方たちである。そういう人間が寮に住んでいる中で、資料の通行想定図でも国際町が集落に含まれていない、マークがされていないという状況である。地域のお荷物になっているのではないかという気がしてしまう。(東)</p>
88	A	<p>広報誌が届かないという件については、きちんとやりたいと思う。住所をお聞かせいただければすぐに手配する。国際大学があつての国際町という面もあるので、大学を通じてやっている。決して大学をお荷物だなんて思っていないし、私は市長として国際大学の評議員会に出させていたたく中で、国際大学はこれからの南魚沼市にとって非常に意味があるということである。大学というのは地域に開かれているということが学校の評価にも繋がっていくので、我々といかにして一緒にやっていくかが重要である。国際大学には我々も力を貸していただいているし、これまで以上にやっていきたいと考えている。二市一町の首長で理事長にお願いをしに行った時、「同意を取ってほしい」と、もう一つは「心苦しく思っている」とも言われた。当初あれだけの土地を確保したが、思い描いていたことが成し得なかった。これを今から実現するのはそう簡単ではない。ただ、別の視点から国際大学の力を借りて色々なことで発展していける事業を起こすことが出来ると思っている。学園環境を壊さずにコミュニティ施設をつくることでお年寄りが憩える場所やそこで働く若者が増えると思う。そういうことが開かれた大学にも繋がると私は思っている。そういうことを学生と話し合ってみよう。</p>
89	Q	<p>国際大学を建設する時は、国際大学、国際高校、国際小中学校、国際幼稚園まで計画しているということで同意した。ここにきてごみという問題だけに皆さん集中しているが、これを機会にごみ処理施設と一緒に、忘れられている国際小中学校、幼稚園を20年後辺りに考えてみるということで説明していただければ、30代のお母さん方は嬉しいとよくよく言われてきたので、市長にお伝えした。よろしく願いたい。</p>
	A	<p>そういう思いはある。学園都市構想については、今のままではあまり良い方向には進まないと思っている。優秀な会社が今、市に入ってきているが、市が待っているのは人材である。しかし、ただ単に人材を連れてくるだけでは解決にはならない。ここで育った子どもたちが帰ってくることができなかつたら駄目である。様々な所で公立の学校がつくられているが、その学校だけではできないことを国際大学が補填するという時代をつくらなければ、学園都市構想の問題はこれ以上進まないと思っている。それをやる場所はどこかと言ったらここなのである。そのためにつらなければならない施設もある。そういうことを早く若い皆さんと話をしたい。けれども、ごみ処理施設の問題で止まってしまうと全く語れないと私は声に出して言いたい。今はその段階で止まっている。こじかできないという気持ちを私は思っている。本当に駄目で断られれば、他に行くことを想定しなければならないが、この地区の発展性を考えると非常にもったいない話だと思っている。いづれにしても、ごみ処理施設を引き受けてくれた場所が、これから10年、20年、30年先の一番の地域にして差し上げるのが、当たり前だと思っている。</p>
	Q	<p>国際大学はこの計画によってどのくらいのお金を手にすることができるのか。もし補助金というようなものがあるとすれば、どういう形で話がなされているか。建設地として決まった場合、大学は土地を売却しお金を貰い、何かしらの補助のようなものを受けると理解で良いか。施設でつくられたエネルギーを利用して大学が恩恵を受ける可能性はあるか。(国際大)</p>
90	A	<p>用地買収費については全く決まっていない状況。もし建設地として決まった場合は土地を売っていただかなければならない。また、大学に対してエネルギー供給をどのようにしていくか話し合いをしていきたい。まだ建設地として決まっていないので、話ができない状況である。土地は借りるという手段もあるが、この施設は将来に渡って何十年も稼働するので、買収ということになると思う。この施設は、温水や電気を起こすことができ、施設の周りには新しい農業の研究もしくは特産品をもっと高めるための施設をつくりたいと考えている。また、雪を利用したデータセンターを建てることもできる。色々なことを想定して考えていかなければならない。</p>

91	Q	<p>私は国際大学のMBAの学生だが、この大学の立地条件というのが非常に素晴らしい、景観が素晴らしい、環境が素晴らしいということに惹かれ、また、地域の安全性等を考慮したなかで国際大学を選んだ。しかし、今後このような施設が建つと景観が変わり、大学のすぐ隣に処理施設があるというのが、果たして魅力的に映るのだろうかという心配、懸念がある。一つ大事なのが、学生は来る前に色々な大学から選ぶようである。それを選ぶ中でここに決める理由が、美しい景色があるからというのが一つにある。(国際大)</p>
91	A	<p>南魚沼のどこにつくったらいいのだろうかということもある。言葉は悪いが、「Not in my backyard」という言葉がある。これはどこにつくっても同じことを言われると思う。私共の気持ちは、そうではなく前に進むことが大切だと思う。もはやごみ処理場と言っていた昔のイメージではない。自分が生活しているところのすぐ横に施設がある状況である。全国では景観等で反対運動が起きて10年もかかり解決したという事例もある。そういうことを越えていくのが我々の使命だと思う。他市町へもっていくことはできないので、それを理解していただき、すごい高いところで勉強をされている学生の皆さんが、そういうことに立ち向かっていくということも含めて、科学技術の更新ということに目を見開いてもらいたいと思う。</p>
92	Q	<p>今日は、このような場を作っていただき、またこういう形で進めていただきお礼申し上げます。私としては、国際大学どうこうではなくて、南魚沼市の将来とそこにある国際大学の将来を考えたなかで、大学で私もこういうプロジェクトを専攻している一人として、二市一町の考えているロジックは非常に良く分かるし、こういうステップを取ったということも理解が出来る。また、このプロジェクトの利点、経済面でどのようなインパクトがあるかということも理解できるつもりである。一方で今回のプロジェクトというのはとてもユニークなものだと感じていて、ごみ処理施設の整備はどこでも行われていると思うが、国際大学のような所が関わってくるというのは非常にユニークだと思う。これに対して、私は反対賛成や質問はないが提案はある。</p> <p>1つにビジュアルで訴えるものがあつた方がよいということである。いかにもごみ処理施設というのではなくて、例えば、煙突をユニークにしてエコのイメージを表す、煙突を木の様にする、建物そのものをエコフレンドリーな形に見える様にして設計するというのも提案の一つとして申し上げたい。</p> <p>2つ目の提案として、施設が国際大学の敷地につくられるということは、どちらかと言うとネガティブに捉えられがちである。その前段階として、例えば、国際大学のランキングを考えたときに他の大学との競争性を高めるために、ネガティブなことばかりを挙げるのではなく「国際大学としてこんなポジティブなことがある」、「プールができる」などポジティブな売りを多く付け足していくというのは大学にプラスになると思う。また、国際大学のバス停は8か所だが、増やすということもあると思う。</p> <p>最後に、国際大学の学生から様々なアイデアを提案していきたいと思うので、こういうプロジェクトを進めたいのであれば、できるだけ学生を巻き込んで大学の意見を取り込めるような形で一緒に進めていただければ非常に嬉しいしありがたい。更に誇りにできる施設であればよりそう思う。(国際大)</p>
	A	<p>貴重な意見として聞かせていただいた。学生さんの意見も尊重していきたい。(新)</p>
No.	12. 議員・議会に対して	
93	Q	<p>(紙資料を配布して)8月29日付けのある議員のブログである。議員として公表されているブログなので出させていただいたが、大和の議員である。</p> <p>まず一つ目はそれ(地名の変換間違い)である。真摯に真面目に穴地新田のことを考えてもらっている議員として素晴らしいと思った。この記事は、穴地新田の集会所に議員に来ていただき反対している方数十人と議論した時のことである。ブログなので好きな事を書いていいのかもしれない。しかし、記事では「私どもからの要請で」となっているが、これは決して議員の方から要請があつたのではなくこちらからお願いして来てもらった。また、その議員から何の打ち合わせの要望もなかったもので、どういう進行でやるか打ち合わせができずにこの日の会が行なわれた。記事の内容があまりにも一方的で議員が感じたことをただ綴ってあるばかり。(穴地新田)</p>
	A	<p>(会場では回答せず)</p>

94	Q	<p>道路や交通の面も含めて、トータルで決めていただかなければならない。今日ここに市議会議員が何名かいるが、あなたたちはどう思っているのか。反対しているから来ているのだろう。賛成している市議会議員はなぜ来ないのか。顔を見ていれば反対のような顔をしている。市民の声を聞くのであれば皆が来ればいいのである。何のために市議会議員を選ぶのかということになる。市議会議員が一つにまとまって集落にきちんと膝を交えて説明してくれればもっと気楽にできる。議員であれば親戚のように話ができるわけである。市長や職員が話をしても上から目線で駄目である。(上・二、寺中、平沢)</p>
	A	<p>市議会議員において賛成、反対はまだあまり誰も言っていない。上から目線という気持ちでは来ていないが、そう感じられたのであれば申し訳なかった。しかし、議員にこの問題をお願いするつもりは全くない。この問題は行政がきちんとやらなければならないと思っている。</p>
No.	13. ごみ処理の広域化について	
95	Q	<p>現在、小出と塩沢にある施設をなぜもっと有効利用しないのか。最新の技術でもっと良い施設ができると言うのであれば、現施設にはまだ用地があるので、それぞれで新設すればいい。広神、大湯、湯沢、塩沢の人がわざわざこの地に持ってこなくても、新しい施設を現施設の用地につくればお互いに近距離で活動ができる。もし、ここに施設ができれば入広瀬や湯沢は、1台に乗るごみの量は同じでもここまで来るのに倍の時間がかかるのである。そうすれば、収集が出来なくなるので車の台数が増える、人件費が増える、燃料費が増えるということになる。さらに自己搬入車両も全てここに集まってくる。資料5の平均293台というのほどのようにして試算したのか分からないが、こういう数字はあってないようなものである。現在ある施設をやり直せば、お互いに今まで通りできるし、大和は今まで通り小出に持っていってもいいし塩沢に持っていってもいい。国際大学は地権者が一軒なので、口説くのは簡単だが、一番簡単なのは、用地買収が必要のない今ある施設を改良していく方法である。今後、これを並行して検討できないか。(水尾)</p>
	A	<p>ここで答えは出せないで、そういう考えもあるということで意見として持ち帰りたい。</p>
96	Q	<p>施設が完成すると一日の車の往來が約1,000台になるということだが、なぜ二市一町それぞれでつくらないのか。資料からすると、大規模な施設を一つつくればコストがかからないと書いてあるが、高速道路が昭和60年に完成して以降、温暖化になっているのである。この辺の米は今後、温暖化のせいで特Aにならないと思う。これは確実で北海道が米の産地になっている。さらに車が増えれば米農家はお手上げになってしまう。したがって、二市一町それぞれで施設をつくってほしい。そうすれば、わざわざ入広瀬や苗場からここまで車を走らさなくてもいいし、その間排気ガスも出ない。そういう面を全く考えていないようである。とにかく、車を走らせない方法を考えていただきたい。魚沼市はスキー場が閉鎖した所で良い場所があるし湯沢町も高速道路から少し行った所にスキー場が閉鎖した所があると思う。そういう所を利用できないかと思う。(東地区)</p>
	A	<p>1巡目でも説明させていただいたが、1番お金がかかるのは運転経費である。20年間でかかる経費が1箇所あるのと2箇所あるのでは全く違ってくる。他の集落でも運搬経費がかかるのではないかとご意見をいただいたが、1つの処理場を運営する経費は莫大なのである。定期点検だけで1億円以上かかり、他にも人件費、燃料代等様々な経費がかかる。それらを考えると1箇所にまとめた方が効率的であるということが言える。</p> <p>車が増えることについては、我々も約1,000台車が入ってくる前提で説明をしているが、減らす方法を考えていかなければならない。これはパッカー車をどれだけ上手く使えるか自家搬入する車をどれだけ減らせるかということに懸かってくる。それが車の通行量を減らす方法だろうと考えている。</p>
97	Q	<p>現在2つ施設があつて全域をカバーしているのになぜ、新しい施設を1つにする必要があるのか。現施設はどのような形で処理がなされていて何が不都合なのか。(国際大)</p>
	A	<p>現在の施設がどうであるかということは、二市一町のごみ処理の現状についてという資料をご覧ください。両施設とも建て替えの時期にきている。現在稼働している施設が老朽化していること、高温処理をして公害を防ぎ安全性を高めるために新しい設備が必要である。</p>

No.	14. 新施設への期待	
98	Q	ごみを出さないわけにはいかないの、どこかに作らなければならない施設である。これから50年、100年後に集落の人が良かったといえる、便利で環境にやさしい施設を作っていたきたい。(穴地新田)
	A	(特に回答せず)
99	Q	高速道路のSAから大きな煙突が見えるところがある。初めて見た時は驚いたが、周りの人は全然気にしていないのである。そういうことを考えれば、話し合うことが大事だし、話が進まなくても代替案として何があるのかという話が大事だと思う。塩沢の施設にしても小出の施設にしても耐用年数が決まっていれば、10年、20年先という訳にはいかない。東京の青山に児童相談所をつくるのは反対というようなニュースがあったが、ああいう所でも火葬場はあるわけで、何も臭いもなく稼働しているのだから環境にはきちんと力を入れていると思う。(上一・二、寺中、平沢)
	A	10年、20年先まで現施設はもたない。現在は、環境問題になるような施設はつけれない。思川の施設も煙は出ないしごみ処理施設も昔の悪いイメージの施設ではない。エネルギー利用も行なうのが当たり前になってきている。これからお年寄りが増えていく中で、お年寄りが家にこもってしまっては困るのでそういう方たちが過ごせるような場所をつくりたい。その最初のモデルをつくるのがごみ処理施設の脇だと考えている。多少いやな思いをさせてしまうこともあると思うが、それを越えるものをつくるのが私たちの努力や信頼関係である。
No.	15. 最終処分場について	
100	Q	焼却灰の最終処分場もこの場所に作るのか。9町歩という面積を確保すれば、その可能性も考えてしまう。(海士ケ島)(柳古)(フオー)
	A	これだけ広い土地があれば何でもできてしまうのではないかとことだが、最初から最終処分場をあつめるつもりは全くない。現在、南魚沼市は焼却灰を山形県米沢市、群馬県草津町にお金を払って処分していただいている。しかし、自分で出したごみは自分の所で処理するのが原則であり、いずれは、2市1町の範囲で処理しなければならないものと考えている。現在のごみ処理場の件が進んだ先においては、自分たちの最終処分場についても考えなければならない。 米沢市、草津町の施設に行くと、いずれも山あい立地している。最終処分場は専用の車両しか通らないので、厳しい山道を行った先の山を削った後の所に埋めている。最終処分場に降った雨水は、四層構造のシートを敷き全部集め下水処理と同じ処理を行ない綺麗にした水を放流する。そこで出てきた物質はまた山に返す。それを30年繰り返して行かない山がおさまる。したがって、そういう地形ではないと最終処分場というのは中々機能しない。
101	Q	最終処分場をつくれれば関東やそこら中からごみが来るのではないかと心配の声が出た。2巡目の資料に最終処分場も考えていると書いてある。それは、自分の所だけの焼却灰ではなく他所の焼却灰も受けなくてははいけなくなるのではないか。(穴新)
	A	最終処分場をつくったら他所からも受けなければならないという決まりはない。2市1町の灰しか受け入れないと条例等で決めれば他の所からは入れられない。山形県にある最終処分場は、産業廃棄物も入っていてとても大きい所に埋め立てをしている。そういう所は全国から受け入れができる。他の自治体が運営している最終処分場に当市が持って行っても余裕がなければ断られる。それは法的な縛りはなく市がそう決めれば問題ない。

No.	16. 建設用地の買収等について	
102	Q	<p>用地の確保について、国際大学と金額について話をしているのか。国際大学に宛てた請願書には、大学・学園都市ができるということで提供したのであってごみ処理施設を作るために提供したのではない、ということ盛り込んだ。この気持ちを理解しているのか。近隣の住民の同意が得られなければここに建てるのは無理だと思うが、大学側も近隣の同意がなければ土地は提供できないということなので、無理ではないか。(八色原・穴地新田・海士ケ島新田)</p>
	A	<p>市と大学で用地についてやり取りはしていないし、金額の話はしていない。 1月26日に二市一町の首長で大学の理事長に話をさせていただいた時、開口一番「当時地元の皆さんから土地の提供があって大学が作られた。周辺の皆さんから概ねの同意がない限りは大学として賛成できない。」ということであった。したがって、皆さんによく説明をして概ねの同意を得ることが条件である。</p>
103	Q	<p>大学の土地単価が安いからここが予定地になったということではないか。単価の高い所でもいいのか。(海士ケ島新田)</p>
	A	<p>土地単価で予定地を選定したわけではない。公共施設の建設は皆の財源で行うので、なるべく安くしたいという思いはある。</p>
104	Q	<p>全体の建物工事含めて総事業費は大体何億円くらいと想定しているか。9haという土地は大体どのくらいの値段で買おうとしているのか。それが出なければ総額も出ないと思う。(柳古新田)</p>
	A	<p>現在、処理能力を14t/日と考えているので、大まかに考えると1トン1億円で、施設だけで大体140億円ほどかかる。それに道路整備、付帯施設を含めると20億円ほど増えるのではないかと考えている。買収単価については近くの宅地の基準で見ると1㎡7,000円くらいである。実際には土地鑑定評価をして上で決定される。最大額がいくらかで数字を出しているの、これは単価とは言えない。これを超えることはないだろうという数字である。1反歩700万円である。そこまでしないと思う。この辺の宅地の価格ということで見ているだけで、その価格が買収単価となるわけではない。平米7,000円から交渉を始めるという意味ではない。</p>
105	Q	<p>先ほど、道路を拡張したり橋を架けたりするのに12、3億円かかるという説明があったが、12、3億円あれば1反歩1,000万円ですら10町歩ほど買えるのではないか。ここにこだわらなくても1反歩1,000万円を買えば皆が売ると思う。また、12、3億円かけると簡単に言うがどうなのかと思う。市はお金があるのかもしれないが、お金があると言っても皆の税金で皆さんのお金であることは理解していると思う。(柳古新田)</p>
	A	<p>(特に回答せず)</p>
106	Q	<p>用地単価がで平米7,000円という話が出てきたが、9haとなると6億2、3千万円になる。豪儀である。(鯉島)</p>
	A	<p>一番高い所の価格を引っ張ってくるとこれくらいである。実際はそう高くはならないと思う。我々は高く売ろうとか安く売ろうということではなく、ここの評価はいくらで適正価格はいくらかで決まる。客観的にいくらなのかというのが最終的には問題である。また、昔はいくらで売ったかという問題でもない。現在がいくら価格になっているかという調査を今後はしなければならぬ。</p>
107	Q	<p>お金の面は二市一町で行なうのでかなり心強いが、土地の取得でお金がかかりすぎるようでは駄目だと思う。ワイナリーの人たちはそう言うと思う。(鯉島)</p>
	A	<p>ぶどう畑の件はなぜあそこへぶどうが植えてあるのかという問題もあるので、簡単に補償と言えない物件である。これはぶどうを植えた方と大学を交えて協議が必要になると思う。簡単ではない問題である。ぶどうの苗は簡単に買うわけにはいかないそうである。現実には現在、植えてあるわけなので、原因者とは協議していかなければいけない。</p>

108	Q	30、40年前にその土地を大和町に1反歩90万円ほどで売った。大和町が国際大学にいくらで売ったかは分からないが、かなり安い金額で売ったと言う人もいる。今回、市としては1反歩をどのくらいの金額で買うつもりか。(穴地)
	A	市長は国際大学の役員なので会議に出ている。まだこの話が議題に挙がったことはない。高く買って助けるのかという心配をされた方もいたが、国際大学は法人であって、土地の適正な値段というのがあるのでそういうことはできない。我々も公金を使うので、きちんとした値段で購入することになる。予算の数字は今から言ってもらうが、相手側と相談したわけではない。大学側と交渉していないので、周辺集落の宅地の値段を言うと平米7,000円ほどである。あくまでも予算を組むときに最大これくらいという腹積もりを踏むときの数字である。宅地の値段では絶対に買わない。この数字が独り歩きしないようにしていただきたい。我々もそんな値段で買うつもりは全くない。周辺の価格の最大額で考えた時、そうなるということである。地目も違う。本当であれば、土地鑑定評価で平米単価を出したいが、まだ調査が入れるような状況ではないので全く手を付けていない。国際大学も高くなくてはいけないということは言っていない。客観的な理屈が通れば良いのである。
No.	17. 新施設建設費用の負担について	
109	Q	予算はどのくらいを想定しているのか。財源や国の補助金についても知りたい。現在、市の債務は830億円くらいあるが、何十年とやるに当たりお金のことも大事な要素である。そのあたりの資料がないと何とも言えない。この問題はNot In My Back Yard問題と言われるように、必要だけでも自分の所には嫌だという問題だと思うので、定量的な情報がほしい。したがって、大まかで良いので予算規模、イニシャルコスト、ランニングコスト、キャッシュフローなどがいくらなのか出していただくと助かる。(海士ヶ島新田)
	A	事業費が百数十億円かかることになるが、南魚沼市だけが負担するわけではないと思う。人口割になるか財政割になるか分からないが、二市一町の負担割合が出てくる。また、財源の内訳も補助金がいくらで起債がいくらという話にもなる。現状で決まっている範囲を教えていただければと思う。(水尾)
110	Q	建設費はごみ1t当たり1億と言われているので140億円ほどになる。周辺の整備や付帯施設の整備を含めるともっと増える可能性はある。国の補助金については半分の部分と3分の1にかかる部分がある。起債もある。二市一町での建設費の負担割合はまだ決まっていない。建設地が決まって、基本設計ができた段階で実際の値段が想定できる。造成費もいくらになるか分かっていないのでもう少し具体的に煮詰めないと負担割合は決められない。負担割合は人口比やごみの排出量などで決める。例えば、観光地だと人口に対してごみの排出量が多くなるので、人口だけで割ると合わないという場合もある。ごみ処理施設を建てるに当たっては、以前から財政計画を立てているので時期がくれば開示したい。
	A	道路改良について、場所だけの問題ではなく二市一町の全員の方にお金という負担がかかるということであるが、トラブルが起きた時は南魚沼市に言えば良いということでもいいか。(浦佐八色) 県道、国道は別として市道になると二市一町である。あとは色々な起債である。ごみ処理施設の補助金制度はあるが、それに付帯した道路までは補助はつかないので、道路事業で別の補助金を活用する形で財源を確保する形になる。市道として管理するのは南魚沼市になるので、トラブルの際は市に言っていただくことになる。 なお島新田のごみ処理施設は湯沢町のごみを引き受けているが、南魚沼市が主体で管理している。二市一町になった場合も、管理するのは立地する当市になる。
111	Q	八色原には、風評被害やダイオキシンについて心配している人がいる。また、迂回路の工事額が非常に高額で、我々の子どもや孫が負担することになるのかという心配をしている人もいる。(上一・二、寺中、平沢)
	A	道路の改良費は久曲川に橋を架ける費用も含まれている。国際大学の使わない広大な土地がある中で、道路整備をすることでもっと利用の可能性が開けてくるのではないかと考えている。二市一町でこれだけの道路整備を進められるのであれば、あの土地を生かしていく方法が今後見いだせるのではないかという思いがある。投資と考えれば決して無駄ではない。
112	Q	道路整備をすると国や県の補助金でかなり賄えるのか、地元や市に負担がかかるのか。(上一・二、寺中、平沢)
	A	住んでいる地元の方に直接の負担はないが、市の持ち出しというのは必ず出てくる。多くは道路整備補助金であとは起債である。あとは市が負担する形になる。

113	Q	拡幅する道路が何箇所もあるが、魚沼市や湯沢町にも応分の負担はしてもらうのか。南魚沼市が全て負担するのか。(原小路、横)
	A	道路整備を全て行なうと12、3億円かかるが、二市一町で負担するという腹決めを行なっている。議会は通していないが、首長同士では確認している。久曲川に2つ橋を架けるだけで半分ほどかかってしまう。
114	Q	資料には建設費がどのくらい掛かるのか書いていないが、大体どのくらい掛かるのか。(東地区)
	A	相場で考えると、可燃ごみ処理施設だとごみ1tにつき1億円なので約140億円が施設だけで掛かる。それに付帯施設の費用が掛かってくる。
115	Q	経費削減ということは、我々が負担するごみの処理費用についても、現在、小出と島新田にある施設と遜色ない単価で処理できるということで良いか。(東地区)
	A	2つを1つにすることでごみの処理料金は下げられる。しかし全てを下げられるかどうかは分からないところもあるし消費税も上がる。処理単価がどうなるかというのは、建設コストと運営コストをきちんと算出しないと具体的に述べることができない。なるべく下げるように努力したい。
116	Q	地権者が一箇所で売りたい、買いたいということが一致したというのは理解できるが、それだけで決めてもらっては困る。圏芸や交通量の問題が心配だ。1つの集落でも反対すれば建設しないということなので、早めにゼロからのスタートで別の場所を考えていただきたいというのが切実なお願である。(八色原)
	A	水面下で動いているのではなく最初から住民の皆さんと話をしようということで始めてきている。意見を言っていただければ本当の事を言うので疑心暗鬼だけはしないでいただきたい。その中で良く考えていただき、最後は結論を出してほしいと思っている。
No.	18. 建設予定地の選定理由について	
117	Q	一般公募では市が指定したエリアの中心でない湯沢町の谷後地区や、塩沢の雲洞からも応募ができたので、今回、市が想定する二市一町の中心エリアから外れていても問題はないのではないか。(八色原)
	A	一般公募では市が指定するエリア内であればどの集落からの応募は可能であったが、今回の行政主導での候補地選定では、二市一町の収集運搬距離の観点から、二市一町のほぼ中心と思われる場所を選定することとした。一般公募で湯沢の谷後地区より応募していただいたのはありがたいが、やはり収集運搬距離の問題から最終的な判断では難しいということになったと思う。
118	Q	この地を候補地として決定するまでに他の候補地も検討したと思うが、大規模な搬入道路整備を行ってまで、国際町大学敷地内にごみ処理施設を建設しなければならない理由は何か、交通面からいえば、17号バイパス周辺が適地ではないのか。(八色原)
	A	確かに交通の便の良い場所は他にもあると思うし、我々もこの地が100点満点だとは考えてはいない。しかし、これだけの用地を持っている国際大学が土地の提供は可能であると言うなかで、他に条件が整う場所があるかを考えた時、これほど良いところはないのではないかという判断を我々はした。この地にごみ処理施設だけでなく将来的な発展可能性を考えた時には、道路整備をしていくことは決して無駄ではないと考えている。何ができるかということまでは申し上げることはできないが、可能性が多く詰まっている場所という認識を持っている。ごみ処理施設だけを考えるとここになぜ投資するのかと疑問に思われるかもしれないが、広く見た場合にはここは発展する可能性が高い地域であるという認識のもとに、ごみ処理施設をここに持ってくるべきだと我々は考えている。
119	Q	市は二市一町の中心が国際大学だと言うが、私が調べたところ、国道17号線を利用した場合、堀之内の和南津付近から湯沢の中里付近までの中心は五日町スキー場辺りになり、国道291号線を利用した場合は、中心は上越建設さん辺りになる。したがって、中心で考えるのであれば国際大学よりもっと六日町側になるということである。湯沢の土樽までエリアと想定するとさらに先になる。(穴地新田)
	A	市の想定する中心地はピンポイントの土地ではなく、半径数キロに渡る「中心エリア」との考えから、言われている五日町スキー場周辺や麓地区も中心地に入ってきます。

120	Q	説明資料に「可能な限り周辺に一般住宅等が存在しない場所」と記載しているが、安全な施設を建てるということであれば別に住宅街でも良いのではないかと。現実に十日町市はデパートやホームセンター、さらには給食センターまで近くにある場所にごみ処理施設が建っている。したがって、一般住宅が存在しない所でも良いのではないかとという素朴な疑問が湧く。また、エネルギー利用の可能性が高い場所という記載があるが、付帯施設に経費をかけないでその熱を直接、病院や市役所の暖房に使ったほうが、手っ取り早く良い方法だと思う。(海士ヶ島新田)
	A	ごみ処理施設はご説明した通り、安全・安心な施設であり、廃熱利用によるエネルギー利用もできることから住宅地や学校、病院の近くに設置も可能です。しかしながら、ごみ処理施設イコール迷惑施設というイメージは未だに払拭できていないため、住宅地や学校、病院等の周辺に建設する事は難しいと思われます。余談ですが、十日町エコクリーンセンターの稼働は平成5年、十日町イオンの出店は平成6年となっています。
121	Q	二市一町の中心的位置というのは何を基準に言っているのか。人が住んでいる所から一番ごみが出るとの事だが、湯沢町は観光地なのでごみの排出量は一般住宅地とは量が違うと思う。人口ではなく、ごみ量の比重で中心を決めるやり方もあるのではないかと。自分としては銭淵公園が中心地と思っている。
	A	ごみの排出量が多い地区は小出地区、六日町地区、塩沢地区、大和地区であり、一番ごみを出す場所の中心という意味である。量より運搬距離が長くなるほど不利となる。中心地の考え方は色々あるため、中心地の議論は不要と思う。また、銭淵公園が中心地としても公園を潰す考えはない。
122	Q	この場所を決めた選定基準が5つあったと思うが、もう一度説明をお願いしたい。(柳古新田)
	A	選定理由の1番目は、収集運搬距離の問題である。六日町の市街地と小出の市街地の大体中心地点であること、ごみが一番出される所の大体真ん中であるという点で有利ではないかと考えた。2番目は自家搬入距離について、現施設との距離感を考えるとあまり偏りが無いという点。また、近くなる人、遠くなる人は必ずいるがそれぞれの負担が分散されるであろうと考えた。3番目は土地の面積・性状について、予定地が雑種地であるということ、広い面積が確保できるということ、農地転用も必要ないというメリットがある。4番目は景観保護についてである。坊谷山が背後にあるため景観に配慮する場合には、北側に向かって配慮していけば良いので半分で済むという点は大きなメリットである。5番目はエネルギーの有効活用の可能性という問題である。田んぼの真ん中につくる場合エネルギーはほとんど必要ないが、園芸の場合はハウスなど色々な形でエネルギーを利用することが可能ではないかと考えた。また、国際大学とのコミュニケーション施設あるいは温浴施設。これは地域支援に対して一つの大きな起爆剤になるのではないかと考えた。こういった、発展の可能性を考えたらうでこの場所を選定した。
123	Q	ごみ処理施設をつくるとなると、振動や騒音等の関係で何m以内は人家があってはいけないなどの法令があるはずだと思う。(フォローアップ)
	A	旧建設省の指針(昭和35年)では市街地から500m以上離れた場所を選ぶこと、また、付近300m以内に学校、病院、住宅群または公園がないこととしているが、平成12年の地方分権一括法の施行で廃止となった。新法では具体的な距離は示されていないが、国土交通省より旧法通達を基本とする都市計画運用指針が発出されている。

No.	19. 他の候補地について	
124	Q	市長は石打丸山の麓で食堂や農業をやられているということだが、もし、石打丸山スキー場の真ん前にごみ処理施設が建てられる計画があったとしたら個人的にどう思うか。市長としてではなくて一人の人間として自分の生活をかけた中で聞きたい。スキー場の所でどういう風に熱利用をすかと考えているか。(穴地新田)
	A	自分が市長になる前はごみ処理施設というのは大変な問題だと思っていた。私は塩沢の人間なので島新田が大変な思いをしてきたのを良く知っていたからである。最初の頃のごみ処理施設は良くなかった。島新田に住んでいる同級生から色々な話を聞いていた。しかし、当時の思いと今は違っていて、市長になって皆さんの前で話をしているなかでは、エネルギー利用の仕方はあると思っている。(石打は)観光で生活している地区だが、観光から外れている人もいるので説得の仕方は昔と比べたら非常に難しいと思う。しかし、健康増進の施設であれば住民も観光客も使ってもらえる。そういう施設をつくって頑張っていこうという話をするだろう。先日の説明会でも自分の地元を持ってくれば良いのではという意見があった。そういう考え方もあると思う。しかし、二市一町でこれから30年事業を行なうなかで、場所がどちらかに片寄った場合は、絶対に不利益が生じる。
125	Q	国道の周りではなくバイパスの周りであれば結構土地がある。(穴地新田)
	A	国際大学の土地にごみ処理施設を作った場合、施設から一番近い民家までの距離と現施設との距離感を考えれば、現施設は塩沢の街中まで入ることになる。距離感ということになると、非常に良い場所だと思っている。熱エネルギー利用を考えた場合、農業への研究支援や、温浴施設等を利用して健康増進などにも取り組んでいきたいと思っている。
126	Q	ごみ処理施設の廃熱をりようしてハウスや温浴施設作るならば、人通りが多い国道17号線沿線が適当だと思う。道の駅を作り、隣にいちごハウスを建てれば観光施設になる。大崎地区まで人を呼ぶとなると宣伝にも費用が掛かるし、冬は特にこの地区まで来る人はいない。(穴地新田))
	A	それは意見としてお聞きする。建設予定地周辺にはそれ以上の利用価値があると思っているので、気持ちは聞かせていただいた。
127	Q	二市一町10万人のごみがここに集まってくるのは気分が悪い。この地域には広大な山地があるので、どの集落にも迷惑の掛からない場所に専用道路を作り、山地を大規模造成して建設すればよい。建設用地は雑種地で農地転用の必要がないのも選定理由に挙げていたが、30年以上も活用されないままに雑種地となっている事で、私達がどれほど悔しい思いしているか分かるか。(穴地新田)
	A	確かにごみ処理施設のイメージは良いとはいえないが、それを超えるものを周辺集落の皆さんと話し合い、その一步を踏み出すことをお願いしたい。
128	Q	恐らく賛成には傾かない方向だと思う。したがって、そろそろ別の候補地を探し始めた方が良いのではないかと。こっただけに歩み寄るのではなく別の案も必要なのではないか。(穴地新田)
	A	国際町候補地が最適地という考えから、周辺集落住民の皆様にはご理解を頂きたい。
129	Q	生活していく上でごみ処理施設はどこかに作らなければならないというのは分かっている。しかし、ここに白羽の矢が立ったため自分達は立ち上がっている。なるべく問題のないところに行ってもらいたいというのが本音である。ここありきで話が進んでいるように見えるので、私どもの村としての意思表示はここにつくるのは絶対反対であるため、反対署名を出させてもらった。先進地視察も計画しているようであるが、ここありきの視察であるならば反対している立場からすれば意味がないし、非常に抵抗を感じる。視察に費やす時間と費用があるならば、皆が納得する場所を探す時間に充ててほしい。(海士ケ島新田)
	A	先進地視察はできるだけ多くの方に新しい施設はどういうものかを見ていただき、最新の施設の安全性や景観への配慮などを感じて頂きたいと思っている。

130	Q	前市長の時代、市のごみ処理場をつくるという名目で土地があると聞いたが、そこは別のことに使う予定があるのか。そこにごみ処理施設は建てられないのか。道路に10数億円かけるのであれば、そのお金をつぎ込んで建てることはできないのか。(海士ケ島新田)
	A	その場所は城内地区の新堀新田最終処分場だと思われませんが、新堀新田最終処分場は現在管理中で閉鎖もされておりません。最終処分場に掘削等の工事を行うためには県知事の許可が必要となりますが、埋め立て物の安定状態を維持しながらの工事は不可能なため、実際には最終処分場が閉鎖された場合であっても、工事の許可は降りないと思われま。埋め立て物を全て掘り返して撤去すれば工事は可能と思われまますが、それと莫大な金額が発生します。そのため、一般的には閉鎖された最終処分場は駐車場や公園などに利用されています。
131	Q	市と国際大学を交えた住民説明会はできないのか。地元はごみ処理施設建設に反対しているが、国際大学にこの状況を伝えているのか。状況が伝わっているとしたら、市が建設の方向に進めているのは変ではないか。私達が今、ごみ処理施設建設反対行動をしなければ話がどんどん進み、自分達が手を出せなくなってからでは遅いのである。必要な施設というも理解しているが、ここでない場所に建設して頂きたい。建設適地は探せばあるはずである。(海士ケ島新田)
	A	国際大学の理事会、評議員会の席でごみ処理施設の件の経緯と反対署名が出ていることなどを含めた状況は説明している。十分な説明と協議を行わずに建設の可否を決める事はできないので、新ごみ処理施設整備については地元住民の皆様とよく話し合っ決めていきたいと思ってる。
132	Q	一般公募では湯沢からも応募があったとの事だが、石打地区の河川敷などは候補として挙げられないのか。(海士ケ島新田)
	A	効率を考えると2市1町の中心的な場所を選定せざるを得ない(新)
133	Q	武蔵野の施設へ視察に行ったが、そこでは市役所の隣に施設がある。したがって、大和庁舎の隣に建ててもいいわけである。あそこであれば土地も広いのでそういう所につくることはできないのか。(海士ケ島新田)
	A	17号バイパス工事が完成すれば候補地として考えて良いと思うが、それでもいろいろな問題はあると思う。
134	Q	10数億円かけ道路整備してまで国際大学地内が良いのか、冷静に考えても自分は少し納得がいけないところがある。やはりバイパス周辺が全体的に考慮すれば交通量も考えてベストだと思う。(柳古新田)
	A	これだけ使える土地がたくさんある所はあまりないと思っている。ごみ処理施設だけを考えれば、なぜそこに10億円も投入するのかもしれないが、国際町周辺は発展の可能性が非常に高い地域であり、大和のフロンティアになる場所だと思っている。この地に10億円を投入する価値はあると考えている。
135	Q	国道17号沿いに施設をつくれれば道路整備しなくても良いのではないかと。今までの話を聞くと、ここにできるという説明に聞こえる感じである。道路に何十億円かけるよりも国道17号を上手く利用して、五日町スキー場の方などに作ることは考えられないのか。やはり国際大学の土地が安かったからということなのか。 (浦佐八色)
	A	各集落の説明会では皆様からいろいろな候補地案が聞かれるが、一長一短があり、どこも難しいと思っ。国際大学側は、市が新ごみ処理施設整備を行うのであれば協力はするが、周辺集落の同意を得てくださいと、言ってる。行政としてはここに作らせてほしいということと話にきているが、頭から「地権者も同意しているのでここに作る」という話にはならない。そのなかで、様々な意見や反対署名が出っているので考えながら行なわっせていただく。周辺の道路も関係者から土地を提供していただかなければ扱げられないので、皆さんから同意がなければ進めることはできない。しかし、予定地の地権者が一軒というのは、我々としては非常に話を進めやすいところはある。

136	Q	水尾の信号を反対に行って山の方につくってはどうかと個人的に思う。1回目の説明会で水尾は150軒あるうち30人しか出てこなかったので、関心がないのかなと思っている。穴地新田、八色原、海士ヶ島新田、柳古新田の方たちを納得させるのはもう無理だと思う。(下一、二)
	A	どこかに作らなくてはいけないというのは皆分かってくれているが、自分達の集落に影響がない場所にならOKだということだと思う。また、あそこに作った方が良いのではという話は他の会場でも出ており、意見として聞かせていただいているが、一長一短がある。
137	Q	現在の計画が駄目になった場合のもう一つのプランを考えているのか。 (上一・二、寺中、平沢)
	A	ここで一つの結論を出してからでなければ、次のプランには進めない。まずここで皆さんに話をさせていただき、村の中が割れないよう気を使いながら、相談しながらどうやって賛否を問うのかを決め、そこで結論を出さなければ他所のことを考えてはいけない。そうでなければ、ここが最適地だと考えているという根底からおかしくなる。
138	Q	一般公募の時、3地区が手を挙げたわけだが、建設候補地を国際大学ありきではなく、湯沢町の谷後を含め、一般公募で応募した地区を第2案、第3案として頭に入れておくという考えは無いのか。(原小路、横)
	A	一般公募の応募条件は応募した集落は、地権者及び地域(近隣地域を含む)の同意が見込めること。と、していた。これは、言葉が悪いが行政としては人任せだった。このやり方が集落間の軋轢を生んでしまった。それは二度とやっではいけないと思っている。
139	Q	もし、この場所で同意が得られなかった場合、他の選択肢、候補地というのは、どのように考えるか。(国際大学)
	A	私たちは、この場所がこれからの将来を見て一番良い場所だと思っている。しかし、もし決まらない場合はどこかにつくらなければならないので、再度やり直しである。現在稼働している2つの施設では、老朽化で毎年1億円以上の修繕費が発生している。これは全市民の負担になっているので、何とか早く解決しなければならない問題である。先ほども話があったように、ここは綺麗な山があって空気が綺麗で良い環境である。確かに心苦しいところもある。しかし、このエリアはどこも誰もがそう思っている。そして、全ての場所がトップブランドの作物を作っていると自負している。
No.	20. 新施設の運営方法について	
140		施設をつくった時、専門の技術者等は配置できるのか。(東)
	Q	ごみ処理施設の運営は民間に委託するのか。いくら最新の施設を建設しても10年経てば古い施設になるし20年経てば部品がないという話も聞く。その辺は、委託すると行政は関与せずに民間に全て任せるのか。(フォロー)
	A	この施設は、公的な建物で公的な機関が運営していくのか。それとも建築後に民間業者に業務委託をするのか、JVのような形にするのか。(国際大)
	A	運営方法はまだ決定していない。上越市などの例では、その施設を運営するためだけに、炉のメーカーが中心となって特殊会社を設立し、その会社が建設からその後の20年間の運営まで全て請け負う方法をとっている。炉のメーカーから専門技術者が派遣され、確実な運営を行なっていく。施設運営は、その会社に委託し、市はそれを監督する立場になる。現在の大型の施設を安全に運転していくためには有効な方法である。最初の立ち上げはメーカーが行なうが、いずれは地元から職員を採用して順次切り替えていくという方法をとるところが多い。
141	Q	広域一部事務組合をつくるのか。(東)
	A	現段階では、一部事務組合をつくることは考えていない。基本的には、施設を設置する市町が事務所を持つという決まりになっており、構成市町から職員を派遣させることはあるかもしれない。特殊会社方式をとった場合には、主体的な運営はその会社が担うことになるので、市は委託料を払って管理データをきちんとチェックしていくことが主な仕事になる。

No.	21. 雇用の増加等について	
141	Q	<p>ごみ処理施設を建てた際、雇用が増える見込みと考えているか。自営業をやっている人を雇用したいと思っているが、中々人が来ない。つまり雇用されたい人が少ないということである。新しい施設をつくって雇用しますと言っても人がいなければ来ないので、その前に雇用されるべき人を増やすことが先ではないかという気がする。(区長会)</p>
	A	<p>色々な施設ができるとある程度の雇用が生まれると思う。しかし、視察の際、施設を稼働させるのは専門の知識や資格を持った方が運転するので地元住民ではないという話をされていた。当地もそれなりの技術や資格を持った方が必要だと思う。そうすると、専門の業者が来て運転するわけなので地元の方の雇用は難しい。中には、勉強して資格を取って働こうという人もいるかもしれないが、色々な施設ができる場合は地元優先で雇用する考えが必要だと思う。(原・横)</p>
142	Q	<p>どのような方法で施設を運営していくかはまだ決まっていないが、最近ポピュラーになっているのは、炉のメーカーが中心となり周辺企業と特別会社をつくる方法である。メーカーから技術者は来るが、基本的には地元の方を採用して最終的には地元職員だけで特別会社を運営していくことが多い。</p> <p>処理施設には賛成できない。国際大学を行政が主体となって誘致した際、学園都市構想のなかで国際大学を誘致することによって地域の雇用と発展に繋がる、穴地新田においてもそこで大勢の人がそこで働くことができるという説明を何度もされた。また個別に説得に歩いていただき渋々賛同した。説明の中では、いつかは、あの地に幼稚園からの一貫教育するような施設をつくりたいという構想があった。残念ながら、時代の流れとともに頓挫したというのが今の現実だと思っている。</p> <p>2巡目の説明の中で、この地にごみ処理施設をつくることによって地域が豊かになる、発展するというような話があった。ごみ処理施設は必ずどこかにつくらなければならないというのは皆さん重々承知していると思うが、温浴施設あるいはプールをつくってなぜこの地域が豊かになるのか。(穴新)</p>
	A	<p>この地域が豊かになる、良くなるというのは捉え方によって違うと思う。ごみ処理施設という嫌なイメージかもしれないが、色々なことに使えて良い面があると思っている。例えば、交通手段がないお年寄りが買い物できて、集まれる健康増進施設をつくりたいと思っている。そこで健康増進ができる歩くプールなど皆さんと話し合いながら具体化していきたい。それが近くにあるかどうかというのは全然違うと思う。</p> <p>そこで集落中の人々が働けるという約束はできないが、若い方の中にはそこで働く人も出てくると思っている。そういう街づくりをしたい。ごみ処理施設だけでなく、そこから一歩進んで話ができることを自分としては望んでいる。個々の家が豊かになるということではないと思う。農業についても取り組みによって販売所などをつくれれば人が集まってくる。車が増えるのはいやだという考え方もあるが、人が増えるということも発展の一つではないかと思う。</p>
No.	22. 環境整備補助金等について	
143	Q	<p>現施設を建てた際に環境整備補助金を出したということだが、どのようなことに使ったのか。丁寧な説明ということであればなぜ1巡目の説明資料に記載がなかったのか。この金額を出せば、2巡目の説明会を回るなかで、賛成すればどのくらいの環境整備補助金が出るのかという質問も出てくるのではないかと。環境整備補助金で考え方が変わる方もいると思う。(浦佐八色)</p>
	A	<p>(島新田では)補助金を基金に積んで、公民館の修繕と神社の修繕にこの基金を使った。1巡目で具体的にこういう金額が支払われていると言うこと自体が失礼に当たるのではないかと考えた。最初からお金について話すのではなく、まずは、現在の施設は安全であるということ、候補地として選定した理由は何なのかを1巡目では聞いていただきたかった。2巡目の資料を作成するなかで、メリット、デメリットは何なのかと良く聞かれたので、現施設の周辺集落に環境整備補助金を出したということは、情報として皆様にお伝えする必要があると考えた。1巡目ではそういう判断の元、あえて具体的な金額を出したことを説明しなかった。同じように補助金を出すかどうかは二市一町ではまだ決めていないが、そういう要望をお聞きするのはやぶさかではないと思っている。環境整備補助金で納得してほしいということではない。</p>

144	Q	<p>交付金についてですが、これだけを見た人の中には、3,000万円貰えるかもしれないと思った人もいるかもしれないので説明してほしい。これを2巡目の説明でメリットとして出すということは、そういうメリットはあるかもしれないということで挙げているのか。一回目の時は一切こういうことはないと言ったと思う。最初からその話が出ていれば自分も含め、お金で考え方を変える人も居たと思う。高齢化が進む中で区費は中々集まらないので、集落が抱えている問題を解決できるのであれば、良いのではないかと話も出させてもらったのに一切ないと言われた。最初の説明でお金のお話をせずに、今回出せば、反対されたから出して納得してもらおうという魂胆が丸見えである。最初からお金のお話をしていたら自分はどちらかという賛成の方に回っていたのということである。しかし、こうなってしまうと区民の皆さんに意見を聞く限りは、いくらお金を提示されても残念ながらひっくり返らないというところである。(穴地新田)</p>
	A	<p>補助金を同じように交付するかは二市一町でまだ決めていない。平成13年、平成6年の時にはこのような形で支出はしているので、これは事実としてお伝えするべきだということで記載している。</p> <p>協力金はメリットなので、こんな話は聞いていなかったと言われるよりは私は数字として出すべきだと考えた。1巡目の説明の中でメリットを聞かれたので、今回の回答として協力金があったと記載させて頂いた。</p>
145	Q	<p>メリット、デメリットのなかでお金のお話が出たが、耐用年数を30年として1年に100万円と考えると、その金額が関係集落全てに支給されるのか。お金の話まで言うと一歩先に進んでしまうが、良い施設ができる、あれもできるという話で餌を出すのではなく、こういう事態が発生する、こういうこともあるという話があってそれを解消するための説明会であってほしい。(穴地新田)</p>
	A	<p>(特に回答せず)</p>
146	Q	<p>環境整備補助金について、現施設の時は出したということだが、どこまでが交付範囲でもらったお金はどういうことに使われたのか。環境整備補助金ということで出ているが、使い道に制約等はなかったのか。どういう基準で金額を決めたのか。(浦佐八色)</p>
	A	<p>基金として積んで、必要な時に集落で使っている。用途に制限はなかった。可燃ごみ処理施設の関係集落というのは記載の島新田、上十日町、三郎丸の3集落である。不燃物処理施設は上十日町だけである。金額は集落との話し合いで決めたが、集落に出せる最大の金額は決まっていたと思う。島新田にはし尿処理施設もあった。同じ形で支出が可能かどうかはまだ全く決めていない。</p>
147	Q	<p>38ページに記載されている環境整備補助金について、そんなことがあったということは知らなかったが、今回も行なうのか。(原小路、横)</p>
	A	<p>環境整備補助金の問題は、まだ決まっているわけではない。しかし、皆さんの引き受けていただくという気持ちに添えていくことができるだろうということもあるので、この問題は大きな検討材料に必ずなってくる。</p>
No.	23. 周辺土地の地価等への影響について	
148	Q	<p>ごみ処理施設ができた周辺の地価について、全国的にどれくらい下がっているのかを調べてほしい。山形県のさくらんぼについても施設ができた後に植えたというのは分かっている。その地域が今後、発展していくことはないということからさくらんぼを植えたのだと思う。(八色原)</p>
	A	<p>調べられる方法があるか分からないが、調査したい。</p>

149	Q	ごみ処理施設をつくり、周辺でできる農産物の価格と地価の価格が下落して、それを理由に土地を手放す人を増やし、その土地を買収し工場誘致するようなことは裏の意図としてないか尋ねたい。先ほど、道の駅という話が出た。そこにしてほしいということではないが、例えば、大学ではなく基幹病院に熱源を提供したって良いわけである。そして、その向かい辺りに道の駅という可能性も十分ある。そこが潤って我々が失敗したとなるか、ならないかは位置関係が全然違う。この地域に道の駅をつくったところで寄ってくれる人がいるかということである。17号バイパス沿いでできれば有効に利用してもらえないかと思う。また、価値は下がらないと言うが、そこに家を建てるか建てないかとなった場合、そこに好んで家を建てる方がいるかという話である。(穴地新田)
	A	ごみ処理施設をつくと周辺の土地が下がるという事例は聞かない。具体的に何がどの程度下がったのか良く調べなければ、それが風評被害になってしまう。温浴施設などの集客施設ができ、道路が整備されることで我々としては地域に貢献ができるので悪くなるよりは良くなるという方向で考えてきた。工場誘致ということについては全く意図していない。 基幹病院の周りでなぜ色々なことが進まないのかということをご存知だと思う。そういうことも含めて耳さわりなくてここが良いという議論も当然できるのだが、そういうことでは中々進まないのそれは難しい。
150	Q	色々な施設等をつくることによって土地の価格が落ちるのか、上がるのかというようにメリット、デメリットがあるわけだが、できるだけデメリットにならないように将来を見込んで学園都市構想という文脈の中で魅力ある焼却場を目指してほしい。(鍛島)
	A	処理場だけではなく周辺に温浴施設や色々なものができれば地価は下がるばかりではない。また、アクセス道路が良くなると上がる可能性もある。 ごみ処理場の問題について国際大学と何度か話をしたなかで、地元の方と学生がフランクに交流ができるような集会施設も考えている。学生とのコミュニケーション、そしてそこから地域が国際大学の魅力を発信できるような形にしていくのが一番良いのではないかと考えている。
No.	24. 地下水への影響について	
151	Q	地下水を使うと思うが、我々も使っていて施設ができることで水量が落ちる可能性も十分あると思う。当然、降雪時に使うとガツンと水量は落ちるので懸念材料である。(鍛島)
	A	地下水は消雪や施設の冷却水等で必要である。冷却水は毎日汲み上げるわけではなく施設内で循環させ、最後は処理施設で処理することになるが、消雪用として地下水がどうしても必要になる。ロードヒーティングや機械除雪など、色々なやり方であるべく地下水に頼らないで消雪を行いたい。地下水は、水脈としてどういう経路が考えられるか事前に調査し、どの程度の水量を確保できるか調査する。
No.	25. 付帯施設について	
152	Q	現状の二つの施設についても、温浴施設や健康増進施設はある。そういう施設は繁盛しているのか。本当にここにつくって利用者がいるのか。維持管理費にもならないようなことになれば繁栄どころの話ではない。そういう施設が赤字の温床になる。箱物がみんな赤字になっている時代である。そういうことをきちんと市場調査したうえでつくるなら良いが、闇雲に宣伝文句ばかりでつくった後は住民に付けが回ったら堪ったものではない。(穴地新田)
	A	皆さんのそれぞれ考え方が違う。お年寄りのことも含めて健康増進施設というのは、ただ単に運動施設ということではなくて、健康寿命を延ばしたいということである。
153	Q	資料を見ると考えてますや思いますというのがほとんどである。これを見て私たちが賛成にいくのか反対にいくのかは中々難しい。施設についても、こういう施設が考えられますと言っているが、建設費用の中に入っているのか。ごみ処理施設ができたけれども費用が高くて他はできませんということにならないように。私たちが選択するに当たってはっきりしてほしい。(柳古新田)
	A	ごみ処理施設の建設費が140億円、道路で10億円、付帯施設で10億円である。組み合わせや何をするかという具体的な内容は我々が押し付けるものではなく、地元の方と一緒に協議しながら案をつくるべきだろうと思っている。

	Q	<p>現施設にも温泉施設があり1日当たり約200人利用しているということだが、流行っていると考えているか。市から温泉施設へ補填していることは無いのか。せっかくそういう施設をつくっても赤字を補填するようではあれである。また、他の所に施設をつくった場合、現在の施設はどうなるのか。ラーニングコストも収入で賄えているということか。(穴地)</p>
153	A	<p>島新田の温泉施設は、市が指定管理に出しており指定管理料を払っている。温泉施設自体はかなり流行っている。ショッピングモールをつくったりしている処理場もあるので、我々も行ってみようかと考えている。</p> <p>魚沼市のゆ〜パーク薬師は、平均して年間3万5千人から3万6千人ほどの入場者がいる。入館料金は大人700円、3歳以上の子どもが400円で営業している。また、島新田の温泉施設と同じように指定管理制度をとっているが、指定管理料についてはゼロである。指定管理制度というのは、市が民間に施設等の運営をお願いする方法で、大きな修繕が必要になった時は市で負担するが、あとは民間のノウハウを利用して運営していく制度である。そこで収支が合わないと赤字になるので市からある程度の補填が入るといのが通常だが、ゆ〜パーク薬師に関しては収支が合っているので指定管理料はゼロで大きな修繕等のみを市が負担している。従業員の給料等も入浴料金などで賄っている。島新田にある温泉施設は1年間で6万6千人ほどが利用されている。通常は、ごみ処理施設から発生した熱を利用して運営しているが、炉が停まる時があるのでその時はボイラーで焚いてもらわなければならない。その灯油代の430万円ほどを指定管理料として市が出している。炉がずっと動いていれば灯油等は必要ないが、点検等のためにどうしても停める時があるので、その時はボイラーで焚かなければならない。その分の燃料費と下水道を繋げた費用を指定管理料として払っている。</p>
	Q	<p>熱エネルギーの有効活用について、説明では小規模の温浴施設とプールということだったが、それであれば、えちご川口温泉のように全部一緒くたにして大規模な施設をつくり、農産物を売ってお客を呼び込む施設にすれば周りの方も納得するかもしれない。正直に言うと金城の里は小さい古臭い。小さい施設をつくってもお客は来ないし「こんな施設のためにお金を出したのか、こんな施設のために焼却場をつくったのか」と言われる方が後々良くないと思う。塩沢にある道の駅のような施設を併設させ観光客が集まるようにしてほしい。(今町新田)</p>
154	A	<p>はっきり言うと南魚沼市はお年寄りの自殺が多い。そういうことにならないようにしたい。市民バスについても様々なことを言われているが、将来像はこの施設に向かうということを考えている。健康増進施設は、寝たきりにならない人をいかにして多くするかがテーマになってくる。したがって、ただのお風呂という考え方ではなく、歩くプールを併せ持ちたい。そこには観光客も行っていいし市民も行っていい。また、全ての学校にプールが必要なのかということも今後のテーマになる。</p> <p>農業支援施設は、ただ単に農作物をつくるだけではなく、研究施設や観光農園ということも考えられる。今後どうなるかは分からないが、ごみ処理施設をつくる場所は絶対にそういう場所にしていかなければならない。また、雇用を生み出したい。し尿処理施設とごみ処理施設はこれまで島新田にあったが、し尿処理施設は五日町に新しく建設した。また、最大の迷惑施設と言われる火葬場は思川にある。火葬場で働いている方は、思川の住民である。私は、ここにできる施設は皆さんが進んで来てくれる場所にしたいと思っている。私がある時に市長をやっているかは分からないが、ごみ処理施設建設の後は二市一町のどこかに最終処分場をつくらなければならない。これも我々が逃げられない課題である。ただ、この場所ではない。広い土地を取得するということが誤解を受けているがそれはあり得ない。構造的につくれない。ごみ処理施設は、エネルギーを使って地域を良くできるという位置づけにしていただければ本当にありがたい。</p>

No.	26. ごみの減量化について	
155	Q	現在の2つの焼却場は古くなったということもあると思うが、ごみの量が足りなくて焼却場として運営できないというような話も聞かれる。燃やすごみの量が少ないとそういう問題が起きるのか。生ごみを自然に還すということも、できるだけ市から補助金を出していただき普及していけば一番良いと思う。ごみの量を減らすということは大いに考えなければいけないと思う。(鰹島)
	A	ごみの減量化の問題について、私は自宅で生ごみをコンポストに入れて処理している。冬場は、市が補助金を出している生ごみを乾燥させる機械を購入して利用している。そうすると溜めておけるので春、畑に撒いて肥料にできる。非常に重宝している。6万円ほどで1/3補助を出しているので普及させていきたいと思う。
156	Q	武蔵野市の施設は、120tの処理能力で人口はどのくらいかと聞いたら、約15万人弱であるとのことだった。人口に比べ小さいけれども、どういう風になっているのかと聞いたら、市の職員ではなかったのではっきりと分からなかったが、生ごみ用の指定袋を少し高くして分別すればするほど安くなるという方法を取っているということである。燃やすごみをなるべく減らす改革をしているようである。(今町新田)
	A	一生懸命分別している人にメリットがあるという方法だと思う。生ごみについては、ディスプレイの補助制度を更に考えていかなければならないし、今後、国はおむつをディスプレイで処理しようとしている。私は、全国で最初の事例を雪深いこの地でやってみたいと考えている。そうすれば、ごみの減量にもなり下水道の末端で取ればバイオマスとして有効利用することもできる。そういう方向を考えている。東京などは自己搬入をさせない。
No.	27. 不法投棄について	
157	Q	仮にごみ処理施設が建設された場合、一番懸念されるのは不法投棄が増えるのではないかとことである。ごみを持ち込んで施設が開いてなかった場合、持ち帰るのが面倒くさいので山や田んぼに投げるということもゼロではないと思う。(鰹島)
	A	島新田の周りで不法投棄が多いと聞いたことはない。日曜日は午後の受け入れをしておらず、ごみを持ち込んだ方がUターンして帰ることはあるが、そこにごみを置いていく方は今までにいない。エコプラント魚沼も日曜日の午後に受け入れていないのは同じだが周辺に捨てていったということはない。施設とは関係ない集落で不法投棄があるが、そういう場合は連絡をもらい回収に行くということを行なっている。トラックからごみ袋が飛んでしまったということはあるが、投棄していくということはない。
No.	28. その他	
157	Q	東京は自己搬入がない。その代り細かく刻めば収集で大体持って行く。また、ほとんど分ける必要がなくみんな燃やせるごみである。(浦佐八色)
	A	将来に渡ってはそういうことも考えていかなければならないと思う。ごみについて皆さんが嫌なイメージを持っているのは生ごみだと思う。対策として有効なのがディスプレイである。生ごみを砕いて下水に流すという方法で、当市では設置が可能なのだが、まだ金額が高いという点とメーカーが統一されておらず台所のシンクに付けづらい点がある。我々はリフォームをする際に導入するよう推進している。これが進んでいった場合、生ごみはとでも減る。生ごみが無くなるとごみ処理場の悪いイメージはかなり無くなると思う。
158	Q	施設の外觀が非常に問題になっているが、熊本城のような城の形をした施設をつくってはどうか。ごみという名前が悪いのだと思う。(東地区)
	A	煙突が嫌だという人がいるので、お米で有名な熊本市では煙突に稲穂のイルミネーションを付けているところもある。煙突に展望台を設置しているところもある。そういう風になってきていることも事実である。スクリーンに映されているのは、花園ラグビー場がある東大阪の施設で、ラグビーをモチーフにしたデザインでつくられている。かえって前面に押し出している。今は悪いイメージにならない。

	Q	視察した二施設ともに小学生の健康教育に非常に力を入れていたことである。小さい頃からの健康教育に市として力を入れることを今回の検討と同時に進める必要があると思った。(鯉島)
159	A	小学生の健康教育あるいは環境教育は、杉並区も武蔵野市も非常に力を入れている。色々な工夫をして、ただごみ処理施設の見学に来るだけではなく、そこでゲーム感覚で知識を身につける、興味を持ってもらうような工夫を行なっている。かなりそこにお金をかけて施設がつけられている。そういう点は非常に見習わなければいけないと思っている。
	Q	説明資料は、説明する集落だけに配ったのか。 石打や中之島の方と話をすると、塩沢にある施設が無くなって大和に行くのだなという程度でほとんど関心がない。当然、ここにできるものだと思っているらしい。150億円以上の公共事業なのだから、何らかの方法でもっと市民に周知したほうが全体で盛り上がるのではないかと思う。(原小路、横)
160	A	資料は2巡目の説明会を予定している集落だけに配った。おっしゃるとおり、どこかにつくるといふ時に、二市一町の皆さんのごみ行政に対する理解が無ければ、他人事になってしまう。例えば、去年は井戸の規制緩和の問題があった。あの時も説明会を行なったが、大和や塩沢の皆さんは参加率がゼロに近かった。関心があるのは六日町の中心部だけだった。それでは困る。したがって、全市を対象とした、先進地事例の紹介や専門家の講演会などをやっていく必要がある。また、議会の議場では盛んに話がされていて、議事録はインターネットで公開もされていて、徐々に皆さんの関心も集まってきている。反対署名が集まって行政からすれば苦戦しているということは二市一町の皆さんも大分知っていると思う。
	Q	市長選挙では、この4集落で林市長を推していたのだから、住民の言うことを聞いて「やらない」という判断をしていただきたい。(穴新)
161	A	国際町は二市一町で決めた候補地であり、市長の一存で「やらない」という判断はできない。良くなることもいっぱいあるということを知っていただいた上で、良いか悪いかを判断していただきたいと思っている。
	Q	行政の方も頑張っていると思うが、今月号の「財界にいがた」にごみ処理施設の問題が掲載されている。記事が出ないようにしてほしい。(鯉島)
162	A	我々は全く取材を受けていない。情報を流している人がいるのだと思う。記事が出たからといって疑心暗鬼になっては困るので我々は毅然として対応していく。
	Q	1巡目と同じ話をしても時間の無駄である。(穴地)
163	A	1巡目の説明会で様々な不安な声があったので、それに答える形で説明をした。同じ話ではなく、1回目を持ち帰った話を2回目で話をさせていただく。
	Q	これまでの2巡目の説明会を8地域で行っているという事だが、反応はどうだったか。特に請願を出した4地区の反応はどうだったか聞きたい。(上一・二、寺中、平沢)
164	A	総じて、1巡目のように心配して声が大きくなるような感じはなかった。賛成をする人は中々いないが、聞く耳を持ってくださるという冷静さが2巡目には見えた。反対の請願を出した4集落は関心が高く、我々にとっては厳しい声も上がっている。しかし、1巡目の時は、「ダイオキシンで俺らを殺すつもりか」というような声もあったが、その後、反対署名が出され、我々として丁寧な説明を2巡目で行なっていく中で、安全性の問題についての意見は出なくなった。
	Q	道路拡張などにおいて、札東で頬を叩くようなことはしないでほしい。(上一・二、寺中、平沢)
165	A	(特に回答せず)
	Q	市はCCRC構想を進めている以上、CCRCを大学の敷地の中に整備したほうが良いのではないか。人口が増えれば国からの交付金も増えるわけなので、CCRCの対応の方が市のために良いのではないかと私は思う。(水尾)
166	A	話を前に進めることができれば、ごみ処理施設と地域の発展という視点から物事を考えることができると考えている。
	Q	高速道路ができてから温暖化が進み農作物に被害が出た。(東地区)
167	A	交通量を減らすには、ごみの量も減らしていかなければならないと考えている。東京は一般の方の持ち込みはさせないところもある。そういうことも含めて分別を進めていきたいと考えている。

168	Q	一番の課題は、坊谷山の北側の集落からの同意だと思う。八色原が入植50周年を記念して作成された記念誌を一読していただきたい。(東地区)
	A	この1年、分からない事も沢山あったが勉強になった。生意気なことを言った点もあるが良い経験をさせていただいた。顔も大分、分かるようになった。
169	Q	区長の負担が大きく、報告は小まめにしたほうが良いのではないか。区民から質問を受けても説明を受けていなければ答えられない。(フォローアップ)
	A	新しい区長に対してもご説明したい。行政が責任を持ってやっていき、なるべく区の役員に負担を掛けてはいけないと思っている。
170	Q	これまで施設の構造や用地の使い方というのはあまり説明がなかった。金を使ってある程度のアウトラインを示して、こういう施設をつくりたいというパスを見せればいい。先進地視察に行った方は素晴らしい施設だと分かっている。それくらいの覚悟がないと進まない。(水尾)
	A	パス等を示せれば土地の利用の仕方などイメージが湧くと思う。